

# 史跡斎宮跡

平成27年度発掘調査概報

2017年3月

斎宮歴史博物館





第186 次調査区全景と「さいくう平安の社」(北から)



S K 10856・10857 出土状況(南から)



## 序

平成 28 年の伊勢志摩サミットの開催に伴い、三重県の歴史・文化は国内のみならず、世界的にも注目されつつあります。先の平成 27 年度は、4 月には明和町で日本遺産「祈る皇女斎王のみやこ 斎宮」に認定され、9 月には平安時代の 3 棟の復元建物を中心とした「さいくう平安の杜」が完成し、斎宮跡全体がサイトミュージアムとして、その魅力を発信しております。

今後、斎宮歴史博物館、いつきのみや歴史体験館と合わせて、斎宮跡を訪れるすべての方に、史跡斎宮跡の歴史と文化を体験、体感していただける場所として、末永く活用していただくことを切に希望します。

さて、今回報告する発掘調査は、史跡の実態を解明するため、下園東区画の北西部で行ったものです。平安時代初頭にさかのぼると考えられる南北の方格地割の道路側溝、文字や記号が刻まれた土器などを確認しました。調査で得られた成果は、地元明和町の皆様をはじめ、ひろく県民の皆様や斎宮跡を訪れる皆様に還元できますよう、積極的に情報発信してまいります。

史跡斎宮跡の保存および調査研究・整備活用にあたり、貴重なご意見やご指導を頂きました文化庁、斎宮跡調査研究指導委員ほか多くの方々や、発掘調査にあたり様々なご配慮・ご協力を頂きました国史跡斎宮跡協議会をはじめとした地元の皆様に厚く御礼申し上げます。

最後とはなりましたが、2015 年 10 月 6 日に、斎宮跡調査研究指導委員の八賀晋先生がご逝去されました。八賀先生は、古代史を中心として日本考古学界に大きな足跡を残すとともに、斎宮跡の解明についてもご尽力されました。ここに、これまでの感謝とともに、謹んで哀悼の意を表します。

2017（平成 29）年 3 月

斎宮歴史博物館

館 長 濱 口 尚 紀

## 例　言

- 1 本書は、斎宮歴史博物館が平成27年度に国庫補助金を受けて実施した史跡斎宮跡発掘調査（第186次調査）の概要をまとめたものである。
- 2 明和町が調査主体となって実施した、史跡現状変更等に伴う緊急発掘調査の第185次調査報告書は、別途明和町が刊行している。
- 3 遺構の実測にあたっては、日本測地系による国土調査法（旧国土座標）の第VI座標系を基準とし、方位は旧国土座標による座標北で示している。また、建物の軸方位については、全て北を規準として表記している。
- 4 遺構時期区分の指標となる土器の分類と年代観については、「斎宮跡の土器」（『斎宮跡発掘調査報告Ⅰ』斎宮歴史博物館、2001年）、大川勝宏2010「斎宮跡における平安期貿易陶磁の基礎的研究」『斎宮歴史博物館研究紀要十九』斎宮歴史博物館、大川勝宏2005「平安時代後期の斎宮跡」『明和町史 斎宮編』による。
- 5 斎宮跡の時期区分については土器の編年に基づき、期と段階を用いて「斎宮跡Ⅱ期第1段階」等と表記すべきであるが、本文中ではこれを簡略に「斎宮Ⅱ-1期」等と表現している。
- 6 遺構表示記号は次のとおりである。  
SA：柱列・屏　SB：据立柱建物　SD：溝　SF：道路　SK：土坑　SZ：落ち込み・その他　Pit：柱穴、ピット
- 7 遺物実測図は基本的に実物の4分の1で行っているが、一部の遺物は原寸大で掲載している。遺物写真は縮尺不同である。
- 8 土層および出土遺物の色調は、日本色研事業株式会社発行『新版標準土色帖』（2004年度版）に據る。施釉陶器の色調については一部、大日本インキ化学工業株式会社発行『日本の伝統色』第5版（1989年）を用いて補っている。
- 9 遺物の漢字表現は、材質の差による漢字の偏に必ずしも従うことなく、「わん」は「椀」、「つき」は「杯」を用いる。ただし、参考文献からの引用の場合にはこの限りではない。
- 10 本書の執筆・遺物写真の撮影は、宮原佑治があたり、編集は調査研究課で行った。また発掘調査および資料整理については、大川勝宏・穂積裕昌・伊藤文彦・杉原泰子・八木光代・西川千晶が補佐した。

## 目 次

|                    |   |
|--------------------|---|
| I 前言 .....         | 1 |
| II 第 186 次調査 ..... | 7 |

## 挿図目次

|  |    |
|--|----|
| 第 I - 1 図 史跡斎宮跡位置図 .....   | 3  |
| 第 I - 2 図 平成 27 年度発掘調査区位置図 .....   | 4  |
| 第 I - 3 図 斎宮跡方格地割区画名称図 .....   | 5  |
| 第 I - 4 図 史跡斎宮跡における大地区表示図 .....  | 6  |
| 第 II - 1 図 第 186 次調査 グリッド図 .....   | 7  |
| 第 II - 2 図 第 186 次調査 調査区位置図 .....  | 8  |
| 第 II - 3 図 第 186 次調査 遺構平面図 .....   | 9  |
| 第 II - 4 図 第 186 次調査 土層断面図 .....   | 10 |
| 第 II - 5 図 第 186 次調査 S D 10852・10854・10859 断面図／<br>S K 10856・10857・10858 出土状況図・断面図 ..... | 12 |
| 第 II - 6 図 第 186 次調査 S B 10853 平面図・断面図・出土状況図／<br>S D 10849・10851 (S F 10850) 断面図 .....   | 15 |
| 第 II - 7 図 第 186 次調査 S Z 10841 平面図・断面図 .....   | 16 |
| 第 II - 8 図 第 186 次調査 S Z 10845 平面図・断面図／<br>S K 10842・10855 出土状況図・断面図 .....               | 17 |
| 第 II - 9 図 第 186 次調査 出土遺物実測図 1 .....   | 19 |
| 第 II - 10 図 第 186 次調査 出土遺物実測図 2 .....  | 20 |
| 第 II - 11 図 第 186 次調査 出土遺物実測図 3 .....  | 21 |
| 第 II - 12 図 第 186 次調査 出土遺物実測図 4 .....  | 22 |
| 第 II - 13 図 第 186 次調査 出土遺物実測図 5 .....  | 24 |
| 第 II - 14 図 下園東区画の調査成果 .....   | 25 |

## 写真図版目次

|        |   |    |
|--------|---|----|
| 卷頭図版   | 第 186 次調査区全景と「さいくう平安の社」(北から)／S K 10856・10857 出土状況(南から)                    |    |
| 写真図版 1 | 南調査区東側全景(北から)／南調査区西側全景(北から) .....   | 29 |
| 写真図版 2 | 北調査区全景(北から)／S K 10856・10857・10858 出土状況(南から) .....                         | 30 |
| 写真図版 3 | S K 10856 下層出土状況(南から)／S F 10850 南側(北から) .....                             | 31 |
| 写真図版 4 | S F 10850 北西側溝群(S D 10831 ほか・北から)／S D 10830(東から)／<br>S Z 10841(南から) ..... | 32 |
| 写真図版 5 | S Z 10845(南西から) .....   | 33 |
| 写真図版 6 | 出土遺物(1) .....   | 34 |
| 写真図版 7 | 出土遺物(2) .....   | 35 |
| 写真図版 8 | 出土遺物(3) .....   | 36 |

## 表目次

|            |                          |    |
|------------|--------------------------|----|
| 第 I - 1 表  | 平成 27 年度発掘調査一覧表 .....    | 2  |
| 第 II - 1 表 | 第 186 次調査 掘立柱建物一覧表 ..... | 18 |
| 第 II - 2 表 | 第 186 次調査 遺構一覧表 .....    | 18 |
| 第 II - 3 表 | 第 186 次調査 遺物観察表(1) ..... | 26 |
| 第 II - 4 表 | 第 186 次調査 遺物観察表(2) ..... | 27 |
| 第 II - 5 表 | 第 186 次調査 遺物観察表(3) ..... | 28 |

# I 前 言

## 1 調査の経緯と概要

史跡斎宮跡は、後に斎宮歴史博物館が建設された古里地区での宅地開発計画に伴い昭和45年に発掘調査が始まり、文化庁の補助事業として昭和48年から開始した範囲確認調査を経て、昭和54年3月27日に国史跡に指定された。県は史跡指定に伴い斎宮跡調査事務所を設置して発掘調査に当たり、平成元年度からは10月に開館した斎宮歴史博物館が史跡解明のための計画調査を継続して実施している。

斎宮跡の発掘調査では、史跡西部に所在すると想定される飛鳥・奈良時代の斎宮跡を解明することが課題であるほか、史跡東部に存在した方格地割と平安時代の斎宮跡中根部の解明も重要な課題である。

近年、地元からも史跡東部の整備を望む声が高まったことから、平成18年度に「史跡整備の在り方検討会」を開催し、柳原区画を中心とした史跡東部における整備の方向を示した。そして、平成22年3月に『史跡斎宮跡東部整備基本計画書』を策定し、平成23年度からは現地での工事に着手して平成27年10月、史跡公園「さいくう平安の杜」が竣工した。

一方、明和町でも「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」に基づき、平成23年度から「明和町歴史的風致維持向上計画」の策定に取組み、平成24年6月6日に国の認定を受けた。同計画では、下園東区画周辺において来訪者の案内・交流を目的とした整備を計画しており、それに先立った発掘調査を下園東区画において平成24年度に行い、平成27年度から工事に着手している。さらに、平成27年4月24日に「祈る皇女斎王のみやこ 斎宮」が日本遺産として認定された。

### 発掘調査

史跡東部の方格地割の構造解明は斎宮跡の発掘調査における重要課題の一つである。下園東区画においては、これまで区画中央から南東部を中心に調査が行われており、斎宮II-1期からII-2期にかけての5間×2間の大規模柱建物が規則的に配置さ

れていたことが確認されている。その一方で、区画の北西部では調査の及んでいない範囲が広く残されており、東側と同様の建物が区画の北西部にも展開するのかを解明することが危急の課題であった。

上記の課題を受け、下園東区画の実態解明を目的として、平成24年度には第178-2次調査を、そして平成27年度には第186次調査を実施した。調査面積は、第186次調査は536m<sup>2</sup>で、調査期間は平成27年12月14日～平成28年3月30日であった。整備

史跡東部整備事業は、柳原区画の発掘調査で確認した掘立柱建物3棟の復元や平安時代の方格地割の広がりを示す区画道路の整備など、平安時代の斎宮の姿を再現するもので、平成27年度は、復元建物建築工事が7月に完成し、基盤整備等工事の完成した10月に竣工した。その後、便益施設建築工事が平成28年1月に、造園整備等工事は3月に完成し、同月に整備事業報告書も刊行した。また、斎宮歴史博物館と上園芝生広場を結ぶ古代伊勢道（旧称：奈良古道）の整備工事も12月に完成した。

### 発掘調査現場の公開・活用

近年斎宮歴史博物館では、史跡への来訪者増加や魅力の向上を目標として、発掘調査現場の積極的な利活用を行っている。具体的には、発掘調査見学者への随時公開・説明、ホームページを通じた情報発信とともに、現地説明会や夏休み子ども体験発掘教室、学校団体等の体験発掘を開催している。

## 2 調査体制

史跡斎宮跡の調査・整備に関する業務は、斎宮歴史博物館調査研究課が担当した。当報告に関わる組織は以下の体制で行った。

<第186次調査>

・平成27年度

大川勝宏（課長）

穂積裕昌（主幹兼課長代理）

伊藤文彦（技師）

宮原佑治（技師）

・平成 28 年度

大川勝宏（課長）

穂積裕昌（主幹兼課長代理）

伊藤文彦（主査）

宮原佑治（主任）

### 3 斎宮跡調査研究指導委員会

斎宮跡の調査・整備について指導・助言を得るため、平成 28 年 2 月 4 日に斎宮跡調査研究委員会を開催し、第 186 次調査を含む下園東区画の性格や明和町の整備事業について指導や助言を得たほか、復元建物については斎宮跡研究員も同席して指導を受けた。指導委員・研究員の方々は下記のとおりである。

〔平成 27 年度指導委員〕

浅野 聰（三重大学大学院准教授）

稻葉信子（筑波大学大学院教授）

金田章裕（人間文化研究機構機構長）

佐々木恵介（聖心女子大学教授）

鈴木嘉吉（元奈良国立文化財研究所長）

所 京子（岐阜聖徳学園大学名誉教授）

八賀 晋（三重大学名誉教授）

増潤 徹（京都橘大学教授）

松村恵司（奈良文化財研究所長）

渡辺 寛（皇學館大学名誉教授）

綿貫友子（大阪教育大学教授）

〔研究員〕

黒田龍二（神戸大学大学院教授）

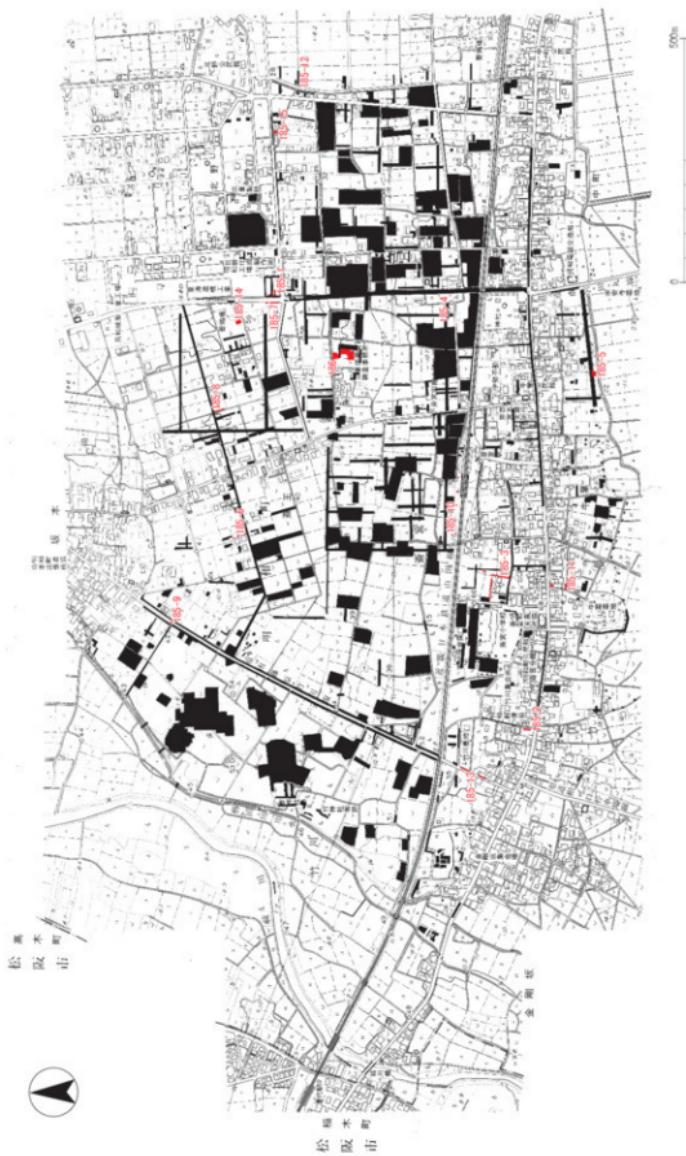
（五十音順・敬称略）

| 調査次数   | 地区                | 面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 調査期間               | 位置          | 土地所有者 | 現状変更               | 保存地区<br>区分 |
|--------|-------------------|-------------------------|--------------------|-------------|-------|--------------------|------------|
| 186    | Q8, Q9            | 536.0                   | H27.12.14～H28.3.30 | 明和町大字斎宮字下園  | 明和町   | 計画発掘調査             | 1          |
| 185-1  | R7                | 23.2                    | H27.7.13～7.14      | 明和町大字斎宮字西前沖 | 明和町   | 史跡斎宮跡維持管理<br>倉庫等建設 | 4          |
| 185-2  | J12               | 12.0                    | H27.7.22～7.27      | 明和町大字竹川字東裏  | 個人    | 住宅改築               | 4          |
| 185-3  | L12, M12          | 72.2                    | H27.8.3～10.16      | 明和町大字斎宮字広頃  | 明和町   | ブルーム転              | 3          |
| 185-4  | R11               | 0.5                     | H27.8.5～8.6        | 明和町大字斎宮字柳原  | 明和町   | 史跡整備               | 1          |
| 185-5  | Q14               | 23.3                    | H27.8.19～8.28      | 明和町大字斎宮字鉢池  | 個人    | 住宅新築               | 3          |
| 185-6  | M6, M7            | 4.7                     | H27.9.14～9.29      | 明和町大字斎宮字森林  | 個人    | 下水管                | 4          |
| 185-7  | R7                | 28.3                    | H27.9.15           | 明和町大字斎宮字業殿  | 明和町   | 休憩所建設等             | 1          |
| 185-8  | P6                | 10.6                    | H27.10.6～10.7      | 明和町大字斎宮字業殿  | 個人    | 住宅新築               | 3          |
| 185-9  | L5                | 2.7                     | H27.10.8           | 明和町大字竹川字古里  | 個人    | 住宅新築               | 3          |
| 185-10 | M11, N11          | 2.4                     | H27.10.14          | 明和町大字斎宮字内山  | 明和町   | 史跡整備               | 1          |
| 185-11 | L13               | 34.3                    | H27.11.4～11.13     | 明和町大字斎宮字牛葉  | 個人    | 住宅新築               | 4          |
| 185-12 | W8                | 0.0                     | H27.10.14          | 明和町大字斎宮字東前沖 | 明和町   | 排水路                | 3          |
| 185-13 | H11, H12, I1<br>I | 27.9                    | H27.1.26～          | 明和町大字竹川字中垣内 | 三重県   | 側溝付替               | 3          |
| 185-14 | R7                | 61.4                    | H28.2.23～3.15      | 明和町大字斎宮字業殿  | 個人    | 住宅新築               | 3          |
| 185-15 | V7                | 27.3                    | H28.2.23～3.15      | 明和町大字斎宮字東前沖 | 個人    | 住宅新築               | 3          |

第 I - 1 表 平成 27 年度発掘調査一覧表



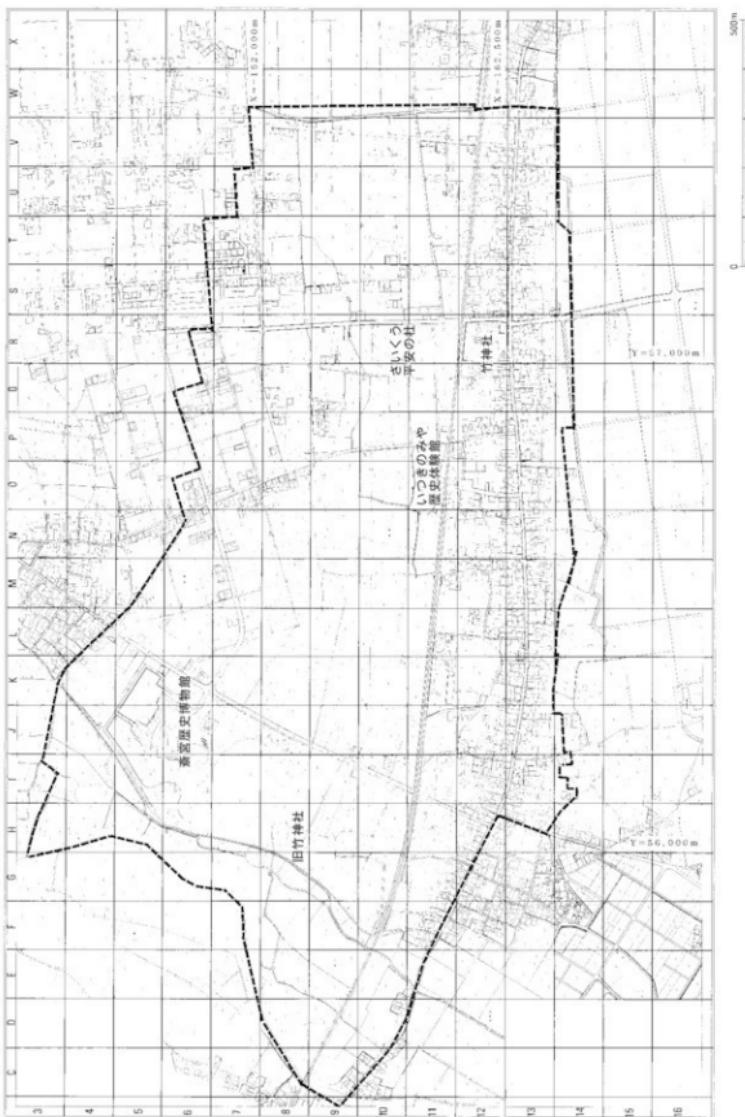
第I-1図 史跡奈宮跡位置図 (1:50,000・国土地理院1/25,000「松阪」「明野」を改変)



第 I-2 図 平成 27 年度発掘調査区位置図 (1:10,000)



第I-3図 斎宮跡方格地割区画名称図 (1:5,000)



第 I - 4 図 史跡斎宮跡における大地区表示図（2002 年）

## II 第186次調査 6 A Q 8・9 下園地区

### 1 はじめに

第186次調査区は、平安時代斎宮の方格地割でいう下園東区画の北西隅部を中心に、方格地割区画道路（以下、区画道路）上に位置する。四周する区画道路を含めて、下園東区画では過去に、第8～10次・10次・13次・17次・18～1次・18～2次・23次・25～5次・156次・166次・168次・174～8次・176次・177次・178～2次・180次の計16回の調査が行われており、斎宮II～I期からII～2期の寮庫と考えられる5間×2間の掘立柱建物が区画全体に等間隔で展開することが明らかとなりつつある。これは東に隣接する西加座北区画でも確認されている延床55mを超える大型の5間×2間の掘立柱建物が等間隔で展開する様相と同様であり、このようなり方は斎宮寮の倉庫、寮庫としての性格が考えられる。

第186次調査は、こうした寮庫のある下園東区画の北西隅部と下園西区画との境界区画道路の様相を解明するため、大型の5間×2間建物を確認した第178～2次調査区の西隣に調査区を設定した。以下、第186次の調査結果を報告する。なお、第186次調査の調査面積は536m<sup>2</sup>、調査期間は平成27年12月14日～平成28年3月30日であった。

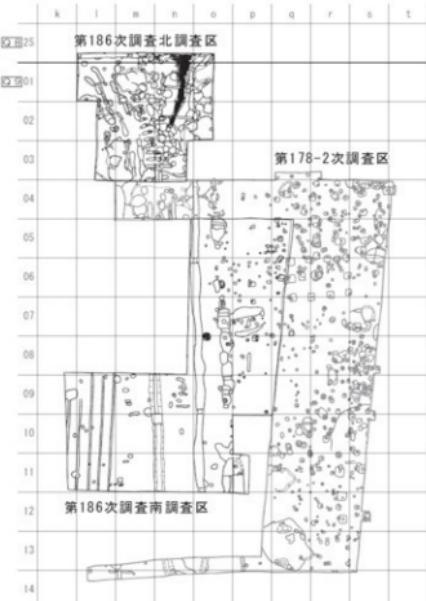
### 2 地形と層位

調査区は現況畠地の平坦地である。北調査区は全体が標高9.65～9.75mで推移し、大きく高さの変化はみられない。南調査区は北端で標高9.90～9.95mと北調査区よりも高く、南下するにつれて標高9.70～9.75mへと下がっていく。このことから南調査区の北端が周囲よりやや高くなる微起伏を有するが、南調査区の南方では、現況でも0.3m程度となる箇所もあり、湿地状を呈している。また北調査区の地表面も水はけが悪く、降雨時には水没することが多くみられた。そのため、全体的に厚さ0.4～0.5mの盛土が近世に施されている。

基本層位は、北調査区で表土（耕作土）、近世盛土、包含層、地山からなり、地山面までの深さは0.65mある。南調査区では、表土（耕作土）、地山からなり、地山面までの深さは0.15～0.2mである。南調査区では耕作土が地山直上までみられ、包含層や黒ボク層は確認できなかった。地山はいずれも黄褐色系のシルトで、遺構の検出は蹠敷遺構SZ10845を除き、地山の上面で行った。

### 3 遺構

第186次調査では、道路に関わる遺構が数多く確認できた。一つ目は奈良時代末葉から平安時代初頭にかけて方格地割造成段階の南北区画道路の東側溝、二つ目は平安時代後期の方格地割北辺東西道路



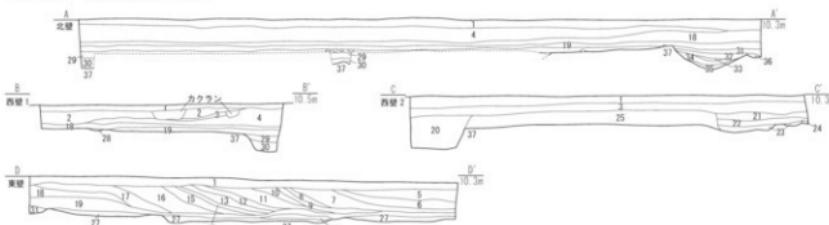
第二-1図 第186次調査 グリッド図 (1:500)



第二二図 第186次調査 調査区位置図 (1:2,000)



## 北調査区 調査区壁断面図

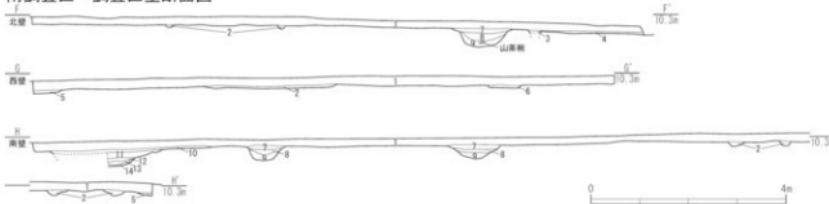


1. 2 SY5/1 黒褐色種細粒砂【表土】  
 2. 10YR4/6 棕褐色種細粒砂～シルト【底土】  
 3. 10YR6/8 明黄色シルト【底土】  
 4. 10YR4/6 棕褐色種細粒砂【底土】  
 5. 10YR4/6 棕褐色種細粒砂～シルト【底土】  
 6. 7 SY5/8 明褐色シルト【SD1084上層】  
 7. 10YR4/3 に近い黄褐色シルトに 20%含む【底土】  
 8. 10YR4/3 に近い黄褐色シルト【SD1084下層】  
 9. 10YR2/3 棕褐色種細粒砂～シルト【底土】  
 10. 7 SY5/8 明褐色シルト【SD1084】  
 11. 10YR4/4 棕褐色種細粒砂～シルト【底土】  
 12. 10YR4/4 棕褐色種細粒砂～シルト【底土】  
 13. 10層に 7 SY5/8 棕褐色シルト【底土】  
 14. 10YR3/4 棕褐色種細粒砂～シルト【底土】
15. 10層に 7 SY5/8 明褐色シルトブロックを 5%、d10cm以下の礫をわずかに含む【底土】  
 16. 12層に d5cm以下の礫をわずかに含む【底土】  
 17. 10層と 7 SY5/8 棕褐色シルトの混合土【底土】  
 18. 10YR4/3 に近い明褐色種細粒砂～シルト【凹地層】  
 19. 10YR2/3 棕褐色種細粒砂～シルト【谷底層】  
 20. 10YR4/6 棕褐色種細粒砂～シルト【谷底層】  
 21. 10YR4/6 棕褐色種細粒砂～シルト【谷底層】  
 22. 10YR3/3 に 3/4 棕褐色種細粒砂～シルトに d5cm以下の礫をわずかに含む【底土】  
 23. 7 SY5/8 棕褐色シルトに酸化褐色鉄を 5% 含む【底土】  
 24. 10YR2/3 棕褐色種細粒砂～シルト【底土】  
 25. 7 SY4/4 に 3/4 棕褐色種細粒砂～シルトに 腐化物を粒状に 3% 含む  
 26. 10YR4/4 棕褐色シルトに 7 SY5/8 明褐色シルトを薄層に 30% 含む【カクラン土】
27. 10YR4/4 棕褐色シルトに 7 SY5/8 明褐色シルトを薄層に 10% 含む【カクラン土】  
 28. 19層に 地山を粒状に 10% 含む【ビット底土】  
 29. 10YR2/2 深褐色種細粒砂～シルト【SD1083上層】  
 30. 10YR2/3 深褐色種細粒砂～シルト【SD1083】  
 31. 10YR2/3 深褐色種細粒砂～シルト【SD10830下層】  
 32. 10YR2/4 深褐色種細粒砂～シルト【SD10830】  
 33. 10YR4/3 に 3/4 深褐色種細粒砂～シルト【SD10846上層】  
 34. 10YR2/2 深褐色シルト【SD10846下層】  
 35. 10YR2/3 深褐色種細粒砂～シルト【SD10846】  
 36. 31層に 地山ブロックを 20% 含む【ビット土】  
 37. 10YR7/3 黄褐色シルト【地山】

## 北調査区 調査区壁断面図



## 南調査区 調査区壁断面図



1. 10YR4/2 棕褐色種細粒砂～細粒砂【表土】  
 2. 10YR4/4-4 棕褐色種細粒砂～細粒砂【耕作層】  
 3. 10YR2/4 棕褐色種細粒砂【ビット底土】  
 4. 10YR4/4 棕褐色種細粒砂【谷底層】  
 5. 10YR3/3 棕褐色種細粒砂～シルトに 地山を粒状に 15% 含む【深いビット】  
 6. 10YR3/3 棕褐色種細粒砂～シルトに 地山ブロックを 10% 含む【深いビット】  
 7. 10YR4/3 に近い黄褐色種細粒砂【SD10849-10851上層】  
 8. 10YR4/2 棕褐色種細粒砂～シルトに 地山を粒状に 20% 含む【ビット上層】  
 9. 9 層に 酸化した地山ブロックを 20% 含む【ビット上層】  
 10. 10YR2/3 黄褐色種細粒砂～シルトに 地山ブロックを 30% 含む【ビット中層】  
 11. 10YR5/5 黄褐色シルトに 10% 含む【ビット下層】  
 12. 10YR5/5 黄褐色シルト【地山】

9. 10YR2/2 深褐色種細粒砂に 地山ブロックを 3% 含む【SD10849-10851下層】  
 10. 10YR2/2 深褐色種細粒砂～シルトに 地山を粒状に 20% 含む【SD10859上層】  
 11. 10YR2/2 深褐色種細粒砂～細粒砂【SD10859上層】  
 12. 10YR2/1 黄褐色種細粒砂に 地山を粒状に 20% 含む【SD10859中層】  
 13. 10YR2/1 黄褐色種細粒砂に 地山を粒状に 10% 含む【SD10859下層】  
 14. 10YR2/1 黄褐色シルト【SD10859】  
 15. 10YR5/8 黄褐色シルト【地山】

第 II - 4 図 第 186 次調査 土層断面図 (1:100)

の南側溝、三つ目は平安時代末葉から鎌倉時代初頭にかけての南北区画道路の東西の道路側溝とそれに伴う波板状凹凸遺構である。その他、道路に関わる可能性のある遺構として、平安時代末葉から鎌倉時代初頭の轆轤遺構もみられた。

道路以外の遺構としては、掘立柱建物 4 棟、柱列 1 列、土坑 8 基などを確認した。遺構の時期幅は奈

良時代後葉から鎌倉時代初頭に及ぶ。また掘立柱建物については、第 186 次調査区内ではほとんど確認できず、南東に位置する平成 24 年度の第 178-2 次調査区に集中している。第 178-2 次調査区については未報告であるが、本調査区の建物の性格を把握するのに欠かせないため、第 II - 3 図に平面図のみを第 186 次調査区と合わせて掲載する。

### (1) 斎宮Ⅰ-4～Ⅱ-2期の遺構

**S B 10873** 南調査区のq5・q6・q7・r5・r6・r7・s5・s6で確認した桁行3間×梁間2間の掘立柱建物で、北西の柱穴1基以外は第178-2次調査により確認している。棟方向は、N 6°Wの東西棟となり、梁間および桁行は18mもしくは21mとなる。柱掘方は一辺0.6～0.9mの隅丸方形を呈する。出土遺物は、第186次調査ではみられなかつたが、遺構の時期は第178-2次調査の状況から斎宮Ⅰ-4期に該当する。

**S B 10868** 南調査区のq4・q5・q6・r4・r5・r6で確認した桁行4間×梁間2間の掘立柱建物で、南西の柱穴4基以外は第178-2次調査により確認している。棟方向は、N 4°Wの南北棟となり、梁間および桁行は18mもしくは21mとなる。柱掘方は一辺0.6～0.7mの隅丸方形を呈する。出土遺物は、第186次調査ではみられなかつたが、遺構の時期は第178-2次調査の状況から斎宮Ⅱ-1～2期に該当する。

**S D 10852** 南調査区のo4・o5で確認した溝で、平面形は、長さ26m、幅1.6mの楕円形を呈し、断面は深さ0.3mの皿状を呈する。出土遺物は、土師器「奉」あるいは「本」の刻書がある皿(1)、甕A(2)、須恵器杯あるいは蓋(3)があり、遺構の時期は斎宮Ⅰ-4期に該当すると考えられる。灰釉陶器皿(4)は上層より出土しており、後世の混入品であろう。

**S D 10854** 南調査区のo7・o8・o9・p9で確認した溝で、複数の土坑状の落ち込みが折り重なるようにして溝を形成している。平面形は、長さ98m、幅1.4m前後で、断面は深さ0.1m前後と浅く、正確な断面形状は不明である。出土遺物は少なく、同化できたものはなかつた。

**S D 10859** 南調査区のo11・p11で確認した溝で、平面形は、長さ28m以上、幅22m前後で、特に東側14m分が深い溝状を呈する。断面は深さ0.3mの逆台形状を呈する。出土遺物は、土師器杯A(5)、椀A(6・8)・皿A(7)・鉢(9)・甕(10～12)・鍋？(13)・須恵器杯B蓋(14)・杯A(15)、甕(16)・盤(17)・平瓶(18)があり、遺構の時期は斎宮Ⅰ-4～Ⅱ-1期に該当すると考えられる。

S D 10852・S D 10854・S D 10859については、柳原地区で確認されている西辺区画道路の延長線上に該当し、溝群の主軸の角度がN 4°Wとなる。このことから溝群は、下園東区画の西辺区画道路の東側溝を形成すると考えられ、出土遺物の年代から、方格地割造成段階の掘削が想定される。

**S K 10856** 南側調査区のo9で確認した土坑で、平面形は、直径10mの正円形を呈し、断面は深さ0.2mの皿状を呈する。出土遺物は上層から、暗文のある土師器蓋(19)・皿A(23)・杯B(20)・ドーマン状の記号刻書皿A(21)・皿A(22)・杯G(24・25)・ドーマン状の記号刻書高杯(26)・甕(27・28)・下層から土師器杯G(29・30)があり、遺構の時期は斎宮Ⅰ-4～Ⅱ-1期に該当すると考えられる。

**S K 10857** 南調査区のo9で確認した土坑で、平面形は0.5m×0.4mの小型楕円形を呈し、断面は深さ0.1mの皿状を呈する。遺物はS K 10856とはほぼ同一レベルから出土しており、その埋没後に掘削されている。出土遺物は、土師器杯B(31)・暗文のある杯A(32)・線刻のある皿A(33)・鍋B(34)・移動式甕(35)があり、遺構の時期は斎宮Ⅰ-4～Ⅱ-1期に該当すると考えられる。

**S K 10858** 南側調査区のo9で確認した土坑で、平面形は直径0.5mの正円形を呈し、断面は深さ0.2mの皿状を呈する。出土遺物は、土師器鍋A(36)・須恵器杯A(37)があり、遺構の時期は斎宮Ⅰ-4～Ⅱ-1期に該当すると考えられる。

S K 10856・10857・10858の3基の土坑は、ブランやセクションで確認したところ、いずれもS D 10854の埋没後に掘削されている。それぞれの遺構の前後関係は、S K 10856がS K 10857の埋没後に掘削されたと考えられるが、遺物の出土状況や遺物の年代をみると、時期差はほぼ皆無と言える。S K 10858は1基だけ他の2基の土坑とは離れており、重複関係より遺構の時期差はみられないが、出土遺物の年代より、3基の土坑は溝の埋没後の間もない時期に掘削されたと考えられよう。なお、3基の土坑から出土した土器には、完形品も含まれており、雖然と廃棄されたような状況ではなかつた。特にS K 10856からは、まじないに使用したと考えら

遺構位置図 (1 : 400)

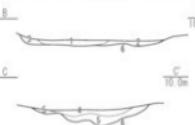


SD10852 土層断面 (1 : 40)



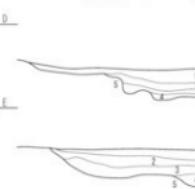
- 1 IOYR2/3暗褐色細粒粉砂に地山を粒状に5%含む【SD10852上層】
- 2 IOYR2/2黒褐色細粒粉砂～シルトに  
地山を粒状に3%, 腐化物を含む【SD10852上層】
- 3 IOYR2/3～3/4暗褐色細粒粉砂～シルトに  
地山ブロックを20%含む【SD10852上層】
- 4 IOYR2/4～4/5黄褐色細粒粉砂～シルトに地山ブロックを30%含む【SD10852下層】
- 5 IOYR4/5暗色シルト【SD10852下層】
- 6 IOYR2/6暗褐色細粒粉砂【塗カクラン?】
- 7 IOYR5/8黄褐色シルト【地山】

SD10854 土層断面 (1 : 40)



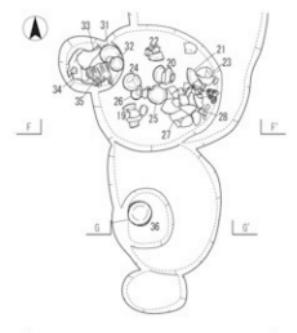
- 1 IOYR2/1黒色細粒粉砂【SD10854上層】
- 2 IOYR2/1黒褐色細粒粉砂に  
地山を粒状に20%含む【SD10854中層】
- 3 IOYR5/4～5/5黄褐色シルト【SD10854下層】
- 4 IOYR2/1黒色細粒粉砂に腐化物をわずかに含む【SD10854上層】
- 5 IOYR2/2黒褐色細粒粉砂に地山ブロックを20%,  
腐化物をわずかに含む【SD10854下層】
- 6 IOYR7/8黄褐色シルト【地山】

SD10859 土層断面 (1 : 40)

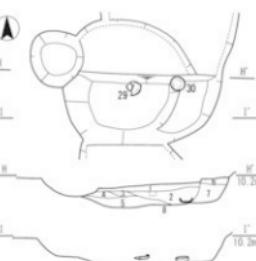


- 1 IOYR2/2黒褐色細粒粉砂～細粒粉砂【SD10859上層】
- 2 IOYR3/1黒褐色細粒粉砂に地山を粒状に20%含む【SD10859中層】
- 3 IOYR3/1黒褐色細粒粉砂に地山を粒状に10%含む【SD10859下層】
- 4 IOYR2/1黒色シルト【SD10859下層】
- 5 IOYR7/8黄褐色シルト【地山】

SK10856・10857・10858 出土状況 (1 : 40)



SK10856 下層出土状況 (1 : 40)



- 1 IOYR2/4暗褐色細粒粉砂～シルトに地山ブロックを  
10%含む【SK10856上層】
- 2 IOYR2/3暗褐色細粒粉砂～シルトに地山ブロックを  
3%, 腐化物を含む【SK10856中層】
- 3 IOYR2/4暗褐色シルト【SK10856中層】
- 4 SYR2/4暗褐色細粒粉砂～シルトに地山ブロックを  
5%含む【SK10856中層】
- 5 IOYR4/6暗色シルト【SK10856下層】
- 6 IOYR2/3暗褐色細粒粉砂～シルトに地山ブロックを  
20%含む【土坑上層】
- 7 IOYR2/3暗褐色細粒粉砂～シルトに地山ブロックを  
30%含む【土坑下層】
- 8 IOYR5/8黄褐色シルト【地山】

第II-5図 第186次調査 SD 10852・10854・10859 断面図、SK 10856・10857・10858 出土状況図・断面図 (1:40)

れるドーマン状の記号を刻書した土師器が複数点出土しており、儀式的な所作を想定される。隣接するほか同時期の S K 10857・S K 10858 からは、移動式竈と鍋、壺など、調理に伴う器種も含まれており、儀礼使用後の土器などを一括して廃棄した可能性も考えられる。

#### (2) 斎宮II-3～II-4期の遺構

S K 10842 北調査区の m1・m2・n1・n2 で確認した土坑で、平面形は長さ 0.9 m × 幅 0.6 m の不正梢円形を呈し、断面形状および深さは完掘していないため不明である。出土遺物は混入品である山茶椀(38)もあるが、上層面より土師器杯 A (39-41)・椀 A (42)・皿 A (43)・壺 C (44) があり、遺構の時期は斎宮II-2～3期に該当すると考えられる。

S K 10843 北調査区の n1・n2 で確認した大型の土坑で、平面形は長さ 6.2 m × 幅 2.8 m の不正形を呈し、断面形状は深さ 0.3 m の皿状を呈する。出土遺物は杯 A (45)、灰釉陶器椀 (46)・皿 (47)・須恵器甕 (48)・土鍤 (49) があり、遺構の時期は斎宮II-2期に該当すると考えられる。

S K 10844 北調査区の n3 で確認した土坑で、平面形は長さ 0.7 × 幅 0.6 m 以上の正円形を呈し、断面形状および深さは完掘していないため不明である。出土遺物は須恵器杯 B (50・51)・灰釉陶器皿(52)があり、遺構の時期は斎宮II-2期に該当すると考えられる。

S K 10848 北調査区の n2 で確認した土坑で、平面形は長さ 1.2 m 以上 × 幅 0.8 m の梢円形を呈し、断面形状および深さは完掘していないため不明である。出土遺物は土師器椀 A (53) があり、遺構の時期は斎宮II-2期に該当すると考えられる。

S B 10872 南側調査区の q5・q6 で確認した桁行 5間 × 梁間 2間の掘立柱建物で、西の柱穴 3基以外は第 178-2 次調査により確認している。棟方向は、N 3°W の東西棟となり、梁間および桁行はそれぞれ 1.8 m と 2.0 m となる。柱掘方は径 0.3 m の梢円形を呈する。出土遺物は、第 186 次調査ではみられなかったが、遺構の時期は第 178-2 次調査の状況から斎宮II-3～4期に該当する。

S B 10853 南調査区の o6・o7・o8・p6・p7・p8・q6・q7 で確認した桁行 3間 × 梁間 3間の西面庇付

と考えられる掘立柱建物で、東側柱筋は第 178-2 次調査により確認している。棟方向は、西庇と仮定すると N 4°W の南北棟となり、梁間および桁行は 1.6 m 前後、庇の出は 3.0 m 前後となる。柱掘方は一辺 0.4 ~ 0.6 m の隅丸方形か円形を呈する。出土遺物は、o6 柱穴 3 から須恵器盤 (55) があり、遺構の時期は斎宮II-2期以降に該当すると考えられる。また暗文のある土師器皿 A (54) は、o6 柱穴 A が S D 10854 の埋没後に掘削されたため混入したものと考えられる。

#### (4) 斎宮III期以降の遺構

S D 10830 北調査区の l25・m25・n25 で確認した溝で、平面形は、長さ 9.4 m 以上、幅 0.5 m 以上を呈し、断面は深さ 0.35 m の逆台形状を呈すると考えられる。主軸は、北側に道路が位置するため幅員を確認することができなかったことから、正確には不明瞭ではあるものの、概ね E 3° ~ 4°N と考えられ、方格地割の傾きとおおむね一致する。このことから S D 10830 は、下園東区画における北辺区画道路の南側溝であると考えられる。底面の標高は、北西部が 9.35 m と低くなるが東側トレーンでは 9.42 m とやや高くなる。出土遺物は、灰釉陶器椀 (56)、綠釉陶器 (57)、平瓦 (58)、土鍤 (59)、温石 (60) があり、その他にもロクロ土師器などの細片も見られたため、遺構の時期は斎宮III期以降に該当すると考えられる。

#### S F 10850 関連遺構

S D 10831 ~ 10840 北調査区の l1・m1・l2・m2・l3・m3 で確認した溝群で、平面形状や深さに統一感はみられないが、底面の標高が、概ね 9.5 ~ 9.65 m となる。後述する波板状凹凸面 S Z 10841 が本溝群と並行して南北に延びていることから、S D 10849 と同様に S F 10850 西側道路側溝を形成する溝群と考えられる。特に S D 10831 と S D 10832、S D 10839 と S D 10840 のあり方をみると、北調査区では本来 2 条の溝が並行していた可能性があり、西側は道路側溝、東側は輶状の溝と考えられる。また、S D 10846 と同様に南から北に延びるにつれ、西側へ弧状に曲がり、S D 10830 と交差すると考えられる。出土遺物は少なく、S D 10836 の土鍤 (61) のみ同化できた。その他の土師器、灰釉陶器などは、

いずれも細片であった。遺構の時期は、出土した土器や埋土の様相などから、斎宮Ⅲ期以降に該当すると考えられる。

**S D 10846** 北調査区の n25・o25・n1・o1 で確認した溝で、S D 10831～10840 と同様に南から北に向けて東側へ弧状に曲がる。平面形は長さ 3.3 m 以上、幅 1.2 m で、断面は深さ 0.3 m の U 字形を呈する。S D 10847・S D 10851 と同様に S F 10850 の東道路側溝に該当すると考えられ、底面の標高は北端が最も低く 9.33 m となり、南側ではやや高くなる。出土遺物は、山茶碗やロクロ土器器の細片のはか、須恵器蓋（62）・杯 B（63）・灰釉陶器鉢（64）があり、遺構の時期は、斎宮Ⅲ-1～2 期以降に該当すると考えられる。

**S D 10847** 北調査区の n1・n2 で確認した溝で、南側を S K 10848 の掘削により失っている。平面形は長さ 2.6 m 以上、幅 0.6 m で、断面は深さ 0.2 m の逆台形を呈する。S D 10846・S D 10851 と繋がり、S F 10850 の東道路側溝に該当すると考えられる。底面の高さは 9.45 m となり、S D 10846・S D 10851 と大差ない。出土遺物は、ロクロ土器器台付小皿（65）があり、遺構の時期は、斎宮Ⅲ-1～2 期以降に該当すると考えられる。

**S D 10849** 南調査区の m8・n8・m9・n9・m10・n10・m11・n11 で確認した溝で、北側も南側も調査区外に継ぎ、南側の第 178-2 次調査区内では東側にやや曲がる。平面形は長さ 12.1 m 以上、幅 1.2 m で、断面は深さ 0.4 m の逆台形を呈する。S F 10850 の西側道路側溝に該当する。底面の高さは北から南まで標高 9.55 m 前後となる。出土遺物は、陶器の山皿（66）・陶器の山茶碗（67-68）があり、遺構の時期は、斎宮Ⅲ-3～4 期前後に該当すると考えられる。

**S D 10851** 南側調査区の n5・o5・n6・o6・n7・o7・o8・o9・o10・o11 で確認した溝で、北側も南側も調査区外に継ぎ、南側の第 178-2 次調査区内では西側にやや曲がる。平面形は長さ 31.8 m 以上、幅 1.0 m で、断面は深さ 0.3 m の逆台形を呈する。S F 10850 の東側道路側溝に該当する。底面の標高は北から南まで 9.5～9.6 m で推移する。出土遺物は、青磁碗（69）のはか、陶器の山茶碗やロクロ土器器の細片があり、遺構の時期は、斎宮Ⅲ期以降に該当

すると考えられる。

**S Z 10841** 北調査区の m1・m2・m3・n3 で確認した波板状凹凸面を構成する溝群で、個々の溝の大きさは長さ 0.8～1.6 m、幅 0.3 m 程の長楕円形を呈する。各溝は概ね 0.4 m 程の間隔で並び、底面の標高は 9.56～9.64 m となる。また各溝の底面には小礫や土器細片などがバラス状に散かれているものもみられた。先述したとおり S D 10831～10840 と並行し、南から北へ弧状の平面配置を呈する。そのため、S F 10850 の道路幅全面に凹凸面は展開せず、西側に偏って、道路側溝 S D 10831～10840 でも内側の溝群と隣接する。このことから S Z 10841 と S D 10831～10840 は連動する遺構の性格が考えられる。出土遺物はいざれも細片化しているが、灰釉陶器碗（70・71）のみ図化できた。遺構の年代は遺物の年代よりも新しく、斎宮Ⅲ-1～2 期以降に該当すると考えられる。

**S Z 10845** 北調査区の m25・n25・n1・n2 で確認した礫敷遺構で、5cm 以下の小礫から、20cm 程の礫など、大小様々な大きさの礫が敷かれている。石材にもまとまりがなく、チャートや砂岩、結晶片岩など種々の川原石を中心構成されている。平面形は、北側は調査区外へと続くため、全体の形状はわからないが、長さ 8.2 m 以上、幅 0.4～2.2 m と南端で最も狭く、北端で最も広くなる舌状を呈している。S D 10846 と並行するものの、S D 10847 とは離れるため、S F 10850 に伴う性格の遺構であるかは断定できない。出土遺物は土器器杯 A（72）・須恵器長頸瓶（73）・円面鏡（74）・甕（75）・灰釉陶器碗（76～81）・瓶（82）・陶器の山茶碗（83・84）があり、遺構の時期は斎宮Ⅲ-3～4 期前後に該当すると考えられる。

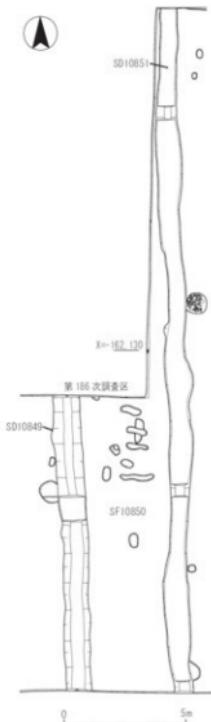
**S K 10855** 南調査区の o7・o8 で確認した集石土坑で、平面形は径 0.8 m の円形を呈し、断面形状は深さ 0.4 m の逆台形を呈する。集石は 5cm～20cm 程の円礫が主体で、意図的に埋納された状態ではなく、乱雜に置かれており、一部で土器片などを含む。また被熱痕や炭化物の出土はなかった。石材はチャートや砂岩などの川原石で構成されている。出土遺物は上層から土器器窓 A（85）・須恵器コップ形鉢（86）が、礫と混在して灰釉陶器碗（87）・ロクロ土器器小皿（88）があり、遺構の時期は斎宮Ⅲ-1～2 期

以降に該当すると考えられる。

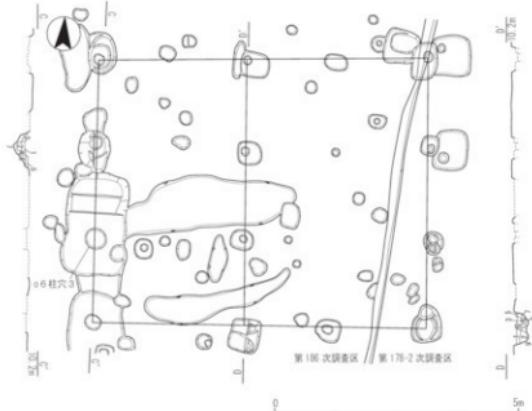
**S A 10862** 南調査区の o8・p8・q7・r7 で確認した欄列で、東側は第 178-2 次調査で確認している。柱間は 2.0 m、2.4 m、2.0 m、1.6 m、2.4 m の 5 間で、

方位は E12° N となる。柱掘方は一辶 0.3 ~ 0.6 m の円形や 0.2 m の隅丸方形を呈する。出土遺物は、柱穴から瓦器碗(89)があり、遺構の時期は斎宮Ⅲ期以降に該当すると考えられる。

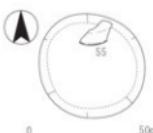
SF10850 断面図位置図 (1 : 200)



SB10853 平面図・断面図 (1 : 100)



SB10853 o6 柱穴 3 出土状況 (1 : 20)



SD10851 断面図 (1 : 40)

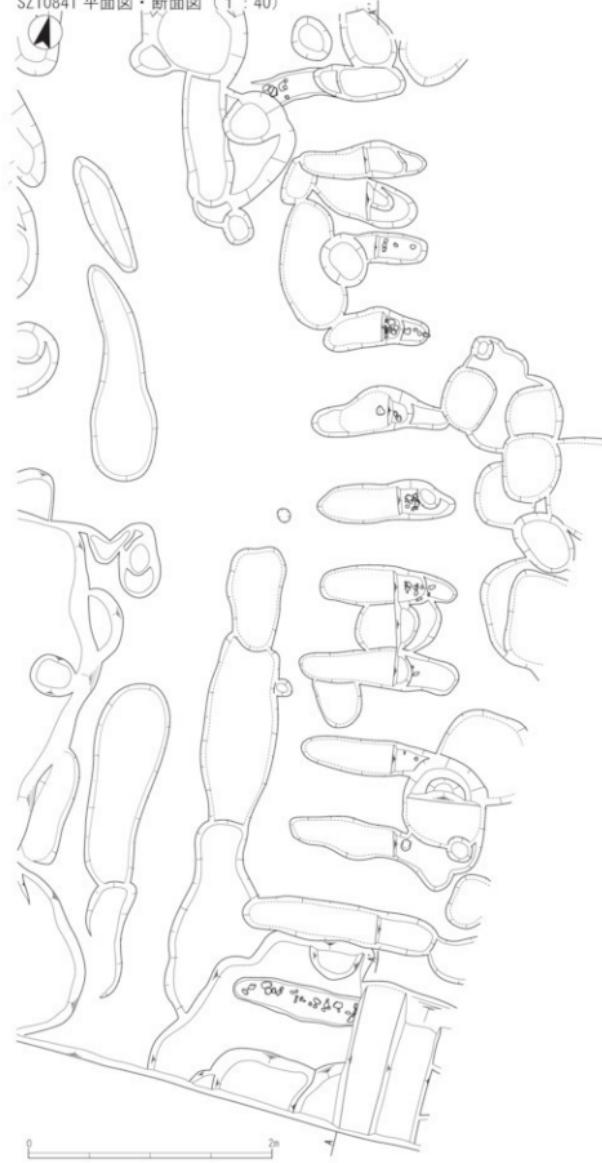


SD10849・SD10851 断面図 (1 : 40)



第 II - 6 図 第 186 次調査 SB10853 平面図・断面図 (1:100)、出土状況図 (1:20)。SD10849・10851 (S F 10850) 断面図 (1:40)

SZ10841 平面図・断面図 (1 : 40)



1. 10841.3に付する黄褐色細粒砂岩【SZ10841層上部】
2. 10841.3に付する黄褐色細粒砂岩【SZ10841層中部】
3. 10841.4に付する褐色細粒砂岩【SZ10841層下部】
4. 1082.3に付する褐色細粒砂岩【SZ10841層下部】
5. 1082.3に付する褐色細粒砂岩【SZ10841層下部】
6. 黄褐色粗粒砂岩【SZ10841層下部】
7. 黄褐色粗粒砂岩【SZ10841層下部】
8. 黄褐色粗粒砂岩【SZ10841層下部】
9. 黄褐色粗粒砂岩【SZ10841層下部】
10. 7.5mS.の初期褐色シルト【山山】

第II - 7図 第186次調査 SZ 10841 平面図・断面図 (1:40)

SZ10845 平面図・断面図 (1 : 40)



SK10842 出土状況図 (1 : 20)



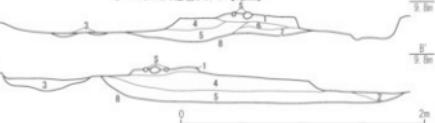
SK10855 出土状況図 (1 : 20)



- 1 10YR 3に近い黄褐色細粒砂～種粗粒砂【SZ10845埋土】
- 2 10YR 4.4褐色細粒砂～種粗粒砂ブロックを5%含む【SD10847埋土】
- 3 10YR 3.2褐色細粒砂～種粗粒砂シルト～シルト  
地山ブロックを10%含む【SK10840埋土上層】
- 4 10YR 3.2～2.7褐色～墨褐色細粒砂～シルト～シルト  
地山ブロックを3%含む【SK10841埋土中層】
- 5 10YR 4.4～4.6褐色シルトに4角を5%含む【SK10843埋土下層】
- 6 10YR 6～4.7黄褐色～褐色シルト
- 7 5YR 6明褐色シルト
- 8 7.5YR 6褐色シルト【地山】

1 10YR 3.4褐色細粒砂に地山を粒状に20%含む【SK10855埋土】  
2 10YR 6.0黃褐色シルト【地山】

0 1m



第 II - 8 図 第 186 次調査 S Z 10845 平面図・断面図 (1:40)、S K 10842・10855 出土状況図・断面図 (1:20)

| 遺構名      | 調査時<br>遺構名     | ピット番号       | 時期  | 規模<br>間(m)×奥(m) | 柱間寸法<br>(m)   | 主軸<br>(N規準)                      | 方位<br>(N規準) | 備考       |
|----------|----------------|-------------|---|-----------------|---------------|----------------------------------|-------------|----------|
|          |                | ※( )はグリッド番号 |   |                 |               |                                  |             |          |
| SA 10862 | 178-2次<br>186次 | 柱列1         | (r7)p2/(q8)p2/(p8)p1  | III以降           | 4~5(10.8)     | 2.1                              | 東西          | N14° W   |
| SB 10853 | 186次           | 建物1         | (o6)柱穴3/(p6)p1/(q7)柱<br>穴3,柱穴5/(p8)柱穴4                                | II-2以降          | 3(5.1)×3(6.6) | (桁行) 1.7<br>(梁間) 1.8<br>(底辺) 3.0 | 南北          | N3° W 西庇 |
| SB 10868 | 178-2次<br>186次 | 建物5<br>建物2  | (q4)p7,p8/(r4)p1/(q5)p4,<br>柱穴1,(r5)p19,p16/(q6)p2,<br>柱穴2/(r6)p3,p12 | II-1~2          | 4(7.6)×2(3.5) | (桁行) 1.9<br>(梁間) 1.75            | 東西          | N4° W    |
| SB 10872 | 178-2次<br>186次 | 建物11<br>建物3 | (q5)p1,p3,p6/(r5)p17,p21/<br>(q5)p8,p17/(r6)p9/(s6)p2,p               | II-3~4          | 5(9.0)×2(3.7) | (桁行) 1.8<br>(梁間) 1.85            | 東西          | N3° W    |
| SB 10873 | 178-2次<br>186次 | 建物4         | (q6)p4,p5/(r6)p1,p3,p6,p1<br>4/(q7)p1/(r7)p1                          | I-4             | 3(5.9)×2(3.8) | (桁行) 1.95<br>(梁間) 1.9            | 東西          | N6° W    |

第Ⅱ-1表 第186次調査 堀立柱建物一覧表

| 遺構名      | 調査時<br>遺構名     | グリッド        | 時期      | 出土遺物     |                                    | 備考 |                                     |                            |
|----------|----------------|-------------|---------|----------|------------------------------------|----|-------------------------------------|----------------------------|
| SD 10830 | 186次           | 溝1          | I25~n25 | III以降    |                                    |    | 土師器、須恵器、灰釉陶器碗、縁付陶器、土鍤、平瓦、温石         |                            |
| SD 10831 | 186次           | 溝27         | II      | III以降    |                                    |    | 北辺道路南側側溝<br>SX10845に切られる            |                            |
| SD 10832 | 186次           | 溝28         | II      | III以降    |                                    |    | なし                                  |                            |
| SD 10833 | 186次           | 溝29         | II      | III以降    |                                    |    | なし                                  |                            |
| SD 10834 | 186次           | 溝11         | II      | III以降    |                                    |    | 土師器                                 |                            |
| SD 10835 | 186次           | 溝30         | II      | III以降    |                                    |    | なし                                  |                            |
| SD 10836 | 186次           | 溝4          | m2      | III以降    |                                    |    | 土師器、土鍤                              |                            |
| SD 10837 | 186次           | 溝9          | m2      | III以降    |                                    |    | 土師器                                 |                            |
| SD 10838 | 186次           | 溝32         | m2      | III以降    |                                    |    | なし                                  |                            |
| SD 10839 | 186次           | 溝15         | m3      | III以降    |                                    |    | 土師器                                 |                            |
| SD 10840 | 186次           | 溝13         | m3      | III以降    |                                    |    | 土師器、須恵器、灰釉陶器                        |                            |
| SZ 10841 | 186次           | 溝5他         | m1~n3   | III以降    |                                    |    | 灰釉陶器小壺                              |                            |
| SK 10842 | 186次           | 土坑2         | m1~m2   | II-2~3   |                                    |    | 波板状凹面                               |                            |
| SK 10843 | 186次           | 土坑4         | n1~n2   | II-2     |                                    |    | 土師器杯・皿、須恵器甕、灰釉陶器<br>碗、土鍤            |                            |
| SK 10844 | 186次           | 土坑8         | n3      | II-2     |                                    |    | SX10845に切られる                        |                            |
| SZ 10845 | 186次           | 縹敷          | n25~n2  | III-3以降  |                                    |    | 須恵器台付鉢、灰釉陶器皿、白磁碗                    |                            |
| SD 10846 | 186次           | 溝2          | o25~n2  | III以降    |                                    |    | 土師器杯、須恵器台付鉢、平底鉢、円<br>面鏡、灰釉陶器碗・壺、山茶碗 |                            |
| SD 10847 | 186次           | 溝3          | n1~n2   | III以降    |                                    |    | SD10847・SD10851と一連の溝か?              |                            |
| SZ 10848 | 186次           | 土坑3         | n2      | II-2     |                                    |    | SD10846・SD10851と一連の溝か?              |                            |
| SD 10849 | 178-2次<br>186次 | 溝25         | n9~n11  | III-3以降  |                                    |    | 土師器、ロクロ土師器、須恵器、灰釉<br>陶器、山茶碗         |                            |
| SF 10850 | 186次           | 道路1         | I25~e11 | III以降    |                                    |    | なし                                  |                            |
| SD 10851 | 178-2次<br>186次 | 溝1<br>溝21   | n5~o11  | III以降    |                                    |    | 上師器、ロクロ土師器、須恵器、灰釉<br>陶器、山茶碗、青磁      |                            |
| SD 10852 | 186次           | 土坑10        | o4~o5   | I-4      | III以降                              |    |                                     | SD10846・SD10847と一連の溝か?     |
| SB 10853 | 186次           | 建物1         | o6~p8   | II-2以降   | I-4~II-1                           |    |                                     | SD10854・SD10859と一連の溝か?     |
| SD 10854 | 186次           | 溝24         | o7~p9   | I-4~II-1 | 上師器、ロクロ土師器、須恵器、灰釉<br>陶器、山茶碗        |    |                                     | SD10852・SD10859と一連の溝か?     |
| SK 10855 | 186次           | 土坑12        | o7~o8   | III以降    | 上師器、ロクロ土師器、須恵器、灰釉<br>陶器、山茶碗        |    |                                     | SK10857に切られる               |
| SK 10856 | 186次           | 土坑16        | o9      | I-4~II-1 | 上師器、ロクロ土師器、須恵器、灰釉<br>陶器、山茶碗        |    |                                     | SK10856を切る                 |
| SK 10857 | 186次           | 土坑14        | o9      | I-4~II-1 | 上師器、須恵器、灰釉陶器                       |    |                                     | SK10856に切る                 |
| SK 10858 | 186次           | 土坑19        | o9      | I-4~II-1 | 上師器、須恵器、灰釉陶器                       |    |                                     | SK10856に切る                 |
| SD 10859 | 186次           | 土坑20        | o11~p11 | I-4~II-1 | 上師器、須恵器、灰釉陶器                       |    |                                     | SD10852・10854と一連の溝か?       |
| SA 10862 | 186次           | 柱列1         | r7~g8   | III以降    |                                    |    |                                     | SB10853を切る                 |
| SB 10868 | 178-2次<br>186次 | 建物5<br>建物2  | q4~r6   | II-1~2   | (r6P12)土師器皿、須恵器蓋                   |    |                                     | SB10870を切る<br>SB10866に切られる |
| SB 10872 | 178-2次<br>186次 | 建物11<br>建物3 | q5~s6   | II-3~4   | (r5P17)土師器蓋、灰釉陶器碗、<br>(s5P9)土師器台付杯 |    |                                     |                            |
| SB 10873 | 178-2次<br>186次 | 建物4         | q5~s6   | I-4      | (r6P1)土師器蓋、(r7P1)須恵器蓋              |    |                                     | SB10853に切られる               |

第Ⅱ-2表 第186次調査 遺構一覧表

## 4 遺物

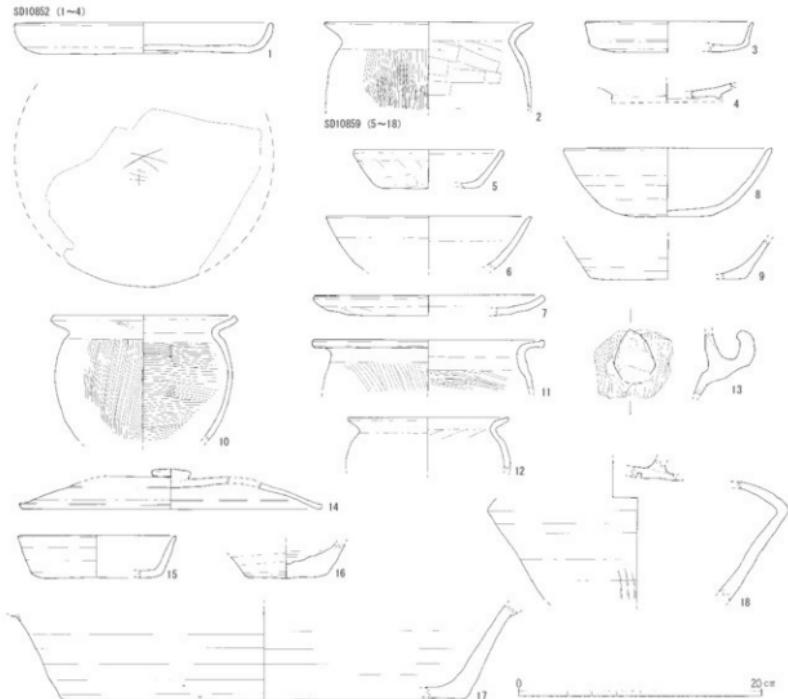
遺物はコンテナバット 36 箱分が出土した。

### (1) 斎宮II-2期以前の遺構出土遺物

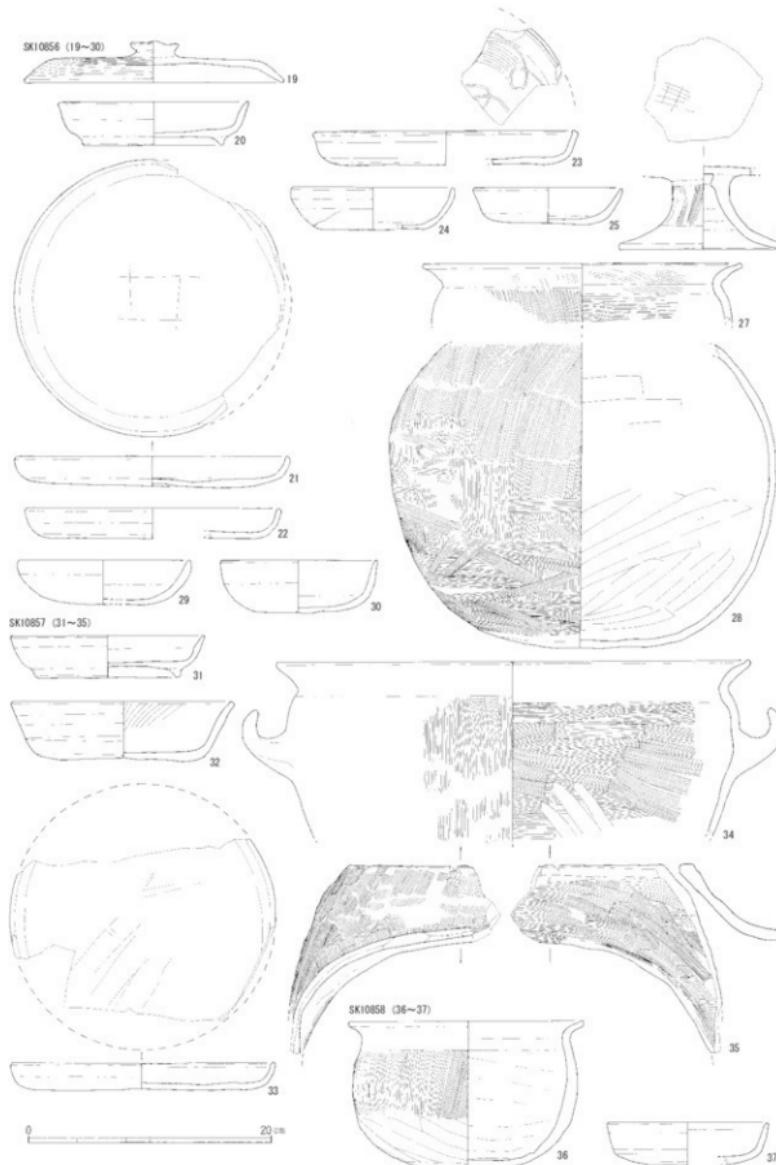
SD 10852 出土遺物 (1~4) (1) は刻書のある土師器皿である。平坦な底部に「奉」あるいは「本」の文字が刻まれている。類似する資料は西加座南区画に 3 例が集中しており、第 83 次調査で刻書土師器、第 86 次調査で墨書須恵器、第 156 次調査で墨書土師器がいずれも異なる土坑から出土している。神殿地区と考えられる西加座南区画の性質を反映している文字の可能性もあり今後注意が必要であろう。(2) は土師器壺 A で、口縁部はやや厚手で、端部は面をもたない。胴部は大部分が失われているものの球状を呈さない。(3) は須恵器杯 A あるいは

は蓋で、口縁部はわずかに外反する。以上は、斎宮 I - 4 期に属する。(4) は灰釉陶器皿で、上層からの出土のため、混入品と考えられる。

SD 10859 出土遺物 (5~18) (5) は土師器杯 A で口縁部は外傾し、端部を丸く収める。(6・8) は土師器椀 A で口縁部はやや内湾し、端部を丸く収める。底部は平坦である。(7) は土師器皿 A で口縁部は強く外傾し、立ち上がりが小さい。(9) は土師器鉢の底部と考えられ、底部は明確な稜線を持ち形成されている。(10~12) は土師器壺で、(10) の口縁部はやや内湾し、端部に面を持つ。胴部は球状を呈す。(11) の口縁部は水平となるほど強く外反し、端部を肥厚させる。胴部は失っているものの、球状を呈さない。(12) はやや小型の壺で、やや厚手の短い口縁部が外傾し、端部を丸く収める。



第 II - 9 図 第 186 次調査 出土遺物実測図 1 (1:4)



第II-10図 第186次調査 出土遺物実測図2 (1:4)

胴部は球状を呈す。(13)は土師器鍋もしくは瓶の把手で、胴部との接合は丁寧にナデつけている。(14)は須恵器杯Bに伴う蓋で、頂部には宝珠ツマミを持つ。外面に一条の沈線を有し、口縁端部がわずか肥厚および外反する。(15)は須恵器杯Aで、口縁部はわずかに外傾する。(16)は須恵器壺の底部と考えられる。(17)は須恵器盤で、胴部に把手を取りつくと考えられる膨らみが残存する。(18)は平瓶で、肩部に把手と考えられる突起を有する。いずれも斎宮I-4~II-1期に属する。

S K 10856 出土遺物 (19~30) (19)は土師器蓋で、頂部には宝珠ツマミを持つ。(20)は土師器杯Bで、口縁部はわずかに外反する。高台は逆台形を呈す。(21)は刻書土師器皿Aで、かなり磨滅しているものの、見込み面にドーマン状の記号が刻まれている。(22)は土師器皿Aで、口縁部がやや外傾し、端部を丸く收める。(23)は暗文のある土師器皿Aで、内面に螺旋状の暗文が施されている。口縁部は外傾し、端部には一条の段差がめぐる。(24・25)は土師器杯Gで、(24)は口縁部がわずかに内傾し、端部を丸く收める。(25)は口縁部が外傾し、端部がわずかに外反する。(26)は刻書土師器高杯で、杯部見込み面にドーマン状の記号が刻まれている。(27・28)は土師器壺で、(27)は口縁部が外傾し、端部を丸く肥厚させる。(28)は胴部のみであるが、

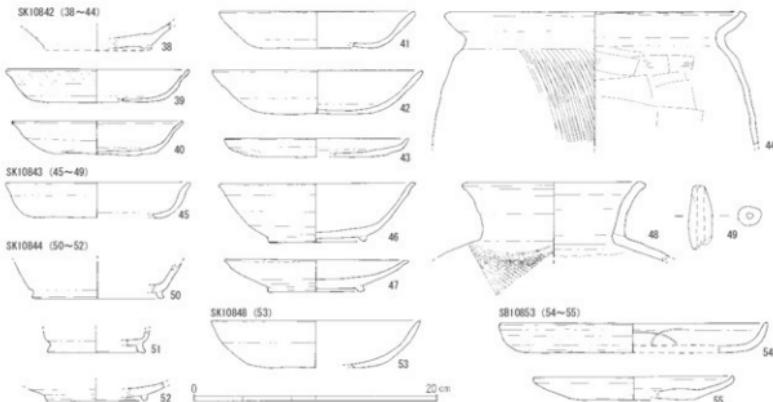
球状を呈する。(29・30)は下層から出土した土師器杯Gで、口縁部から底部にかけては丸く成形されており、在来系の土師器の特徴を色濃く有している。上層、下層とともに斎宮I-4~II-1期に属する。

S K 10857 出土遺物 (31~35) (31)は土師器杯Bで、口縁部は外傾し内面がわずかに肥厚する。高台は逆台形を呈す。(32)は暗文のある土師器杯Aで、磨滅しているものの内面口縁部に放射状の暗文が残る。器高がやや高く、口縁部はゆるやかに外傾する。(33)は刻書のある土師器皿Aで、磨滅により底部に刻まれた線刻はほぼ失われている。(34)は土師器鍋Bで、口縁部は外傾し、端部内面はなでにより凹む。胴部内外面にはハケ目がみられる。(35)は土師器移動式竈で、内外面にハケ目がみられるが、焚口部および口縁部はナデ消されている。いずれも斎宮I-4~II-1期に属する。

S K 10858 出土遺物 (36~37) (36)は土師器鍋Aで、口縁部は短く外傾する。(37)は須恵器皿Aで、口縁部はわずかに外傾する。いずれも斎宮I-4~II-1期に属する。

## (2) 斎宮II-2~II-4期の造構出土遺物

S K 10842 出土遺物 (38~44) (38)は陶器の山茶碗で、高台端部を欠損しているものの、低い高台を有する。上層部から出土したことと、その他の遺物の時期から混入品と考えられる。(39~41)は土



第II-11図 第186次調査 出土遺物実測図3 (1:4)

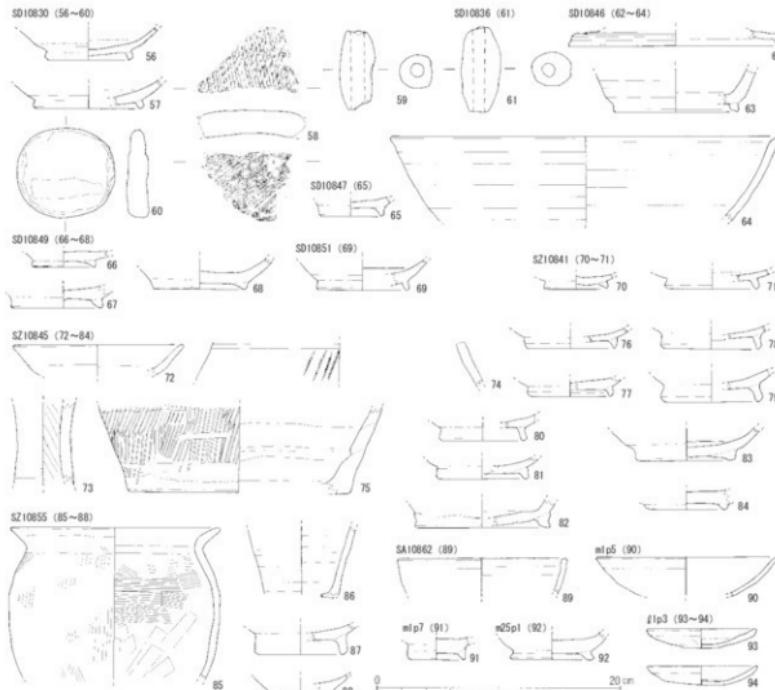
師器杯Aで、(39・40)は口縁部がわずかに外反する。(41)は口縁部が外傾し、端部はわずかに肥厚する。(42)は土師器杯Aで、口縁部が外傾する。(43)は土師器皿Aで、器高が低く、口縁端部をヨコナデし、外面に面をもつ。(44)は土師器皿Cで、口縁部をヨコナデし外面に面をもつ。口縁端部が内面に肥厚する。いずれも斎宮II-2~3期に属する。

S K 10843 出土遺物 (45~49) (45)は土師器杯Aで、口縁部がわずかに外反する。(46)は灰釉陶器椀で、口縁端部が外反し、やや丸みのある逆台形の高台をもつ。(47)は灰釉陶器皿で、口縁端部がわずかに外反し、逆台形で外開きの高台をもつ。(48)は須恵器の甕で、外面に平行タキを施す。(49)は管状土錐である。いずれも斎宮II-2期に属する。

S K 10844 出土遺物 (50~52) (50・51)は須恵器杯Bで、(50)は口縁部に向けてやや外傾する。高台はやや外反する。(51)は小型で、口縁部に向けて直立する。高台は外反し、底面がナデにより凹む。(52)は灰釉陶器皿で、高台はやや丸みを帶びている。(50・51)はやや古く感じるが、概ね斎宮II-2期に属する。

S K 10848 出土遺物 (53) (53)は土師器椀Aで、口縁部はわずかに内済する。斎宮II-2期に属する。

S B 10853 出土遺物 (54~55) (54)は暗文のある土師器皿Aで、内面に螺旋状の暗文が施されている。柱穴の上層より出土し、周囲にはI-4期に遡ると考えられるS D 10854が位置しており、他の遺物の状況も考えると混入品の可能性が高い。(55)



第II-12図 第186次調査 出土遺物実測図4 (1:4)

は焼成のあまい須恵器盤で、口縁部がわずかに内湾し、底部が平坦となる。蓋の可能性も考えられる。斎宮II-2期以降と考えられる。

### (3) 斎宮III期以降の遺構出土遺物

S D 10830 出土遺物 (56 ~ 60) (56) は灰釉陶器椀で、丸みを帯びた三日月高台を有する。(57) は綠釉陶器椀で、見込み面にトチン跡が残る。(58) は平瓦で、磨滅が著しいものの凸面には縦目タキ、凹面には布目痕が明瞭に残る。(59) は管状土錘、(60) は温石と考えられる円形に加工した片岩質の石製品である。固化した土器は斎宮II-4期以前まで遡るが、遺構の時期はIII期以降と考えられる。

S D 10836 出土遺物 (61) (61) は管状土錘で、時期は不明である。

S D 10846 出土遺物 (62 ~ 64) (62) は須恵器の杯Bに伴う蓋で、口縁端部内面に面を持つ。(63) は須恵器杯Bで高台はやや内傾する逆台形を呈する。(64) は灰釉陶器の鉢で、体部が緩やかに内湾する。端部外面はわずかに外反し、端部内面には面をもつ。須恵器は斎宮I期まで遡る資料であるが、上層出土のため混入と考えられる。灰釉陶器は斎宮III-1~2期に属し、こちらが遺構の時期を示している遺物であろう。

S D 10847 出土遺物 (65) (65) はロクロ土器台付小皿で高台は三角形を呈する。斎宮III-1~2期に属する。

S D 10849 出土遺物 (66 ~ 68) (66) は陶器山皿、(67・68) は陶器山茶椀である。(68) は遺構最下層から出土し、斎宮III-3~4期に属するとみられる。

S D 10851 出土遺物 (69) (69) は越州窯系の青磁碗である。

S Z 10841 出土遺物 (70・71) (70) は灰釉陶器小椀で、三角高台をもつ。(71) は灰釉陶器椀である。斎宮III-1~2期に属する。

S Z 10845 出土遺物 (72 ~ 84) (72) は土器器杯で、口縁部はわずかに外反し、端部は丸く収める。(73) は須恵器長頸瓶などの頸部である。(74) は須恵器円面鏡の脚部で、外面には柳状工具による刺突が施されている。(75) は須恵器甕の底部で、内面は丁寧にナデる。(76~81) は灰釉陶器椀、(82) は灰釉陶器瓶の底部である。(83~84) は陶器山茶椀で、

斎宮III-3~4期に属する。その他の遺物は罐とともに混入した遺物であろう。

S K 10855 出土遺物 (85 ~ 88) (85) は土器器甕Aで、口縁部は外傾し、端部を丸く収める。(86) は須恵器小型鉢で、どちらも上層からの出土であり混入品であろう。(87) は灰釉陶器椀で、ずんぐりとした三日月高台を有す。(88) はロクロ土器器小皿で、斎宮III-1~2期に属する。

S A 10862 出土遺物 (89) (89) は瓦器椀の口縁部で、わずかに内湾し、端部に面をもつ。斎宮III期以降に属する。

### ピット出土遺物

m1p5 出土遺物 (90) (90) は土器器杯で、口縁部は外傾し、端部は角張る。斎宮II-4~III-1期に属する。

m1p7 出土遺物 (91) (91) はロクロ土器器台付杯で、斎宮III-2期に属する。

m25p1 出土遺物 (92) (92) は陶器山茶椀で、斎宮III-3~4期に属する。

l1p3 出土遺物 (93・94) (93・94) は土器器小皿で、斎宮III期に属する。

### (4) 包含層・表土出土遺物

包含層出土遺物 (95 ~ 110) (95) はロクロ土器器小皿の台部。(96) は灰釉陶器椀で、外反する角高台を有する。(97・99) は灰釉陶器瓶で、(98) は灰釉陶器小甕である。(100・101) は灰釉陶器鉢で、細い三角高台と外反する角高台をもつ。(102) は青磁椀、(103 ~ 106) は白磁椀、(107) は白磁皿、(108) は青白磁合子蓋である。(109) は管状土錘、(110) は石器未製品で、石材は黒色チャートである。

表土出土遺物 (111 ~ 121) (111) は土馬の尻尾部で、脚部の剥離箇所には棒状の有機質を差し込んだ痕跡がみられる。斎宮I期にまで遡る。(112) は土器器杯、(113) は土器器高杯脚部、(114) 灰釉陶器椀、(115・116) は綠釉陶器椀、(117) は陶器山皿で、見込み面に漆が付着している。(118・119) は白磁椀、(120) は管状土錘である。その他、カクランより近世陶磁器の三足香炉が出土している。

## 5 まとめ

今回の調査は、下園東区画の北西隅部と下園西区画との境界における区画道路の実態解明を目的として実施した。

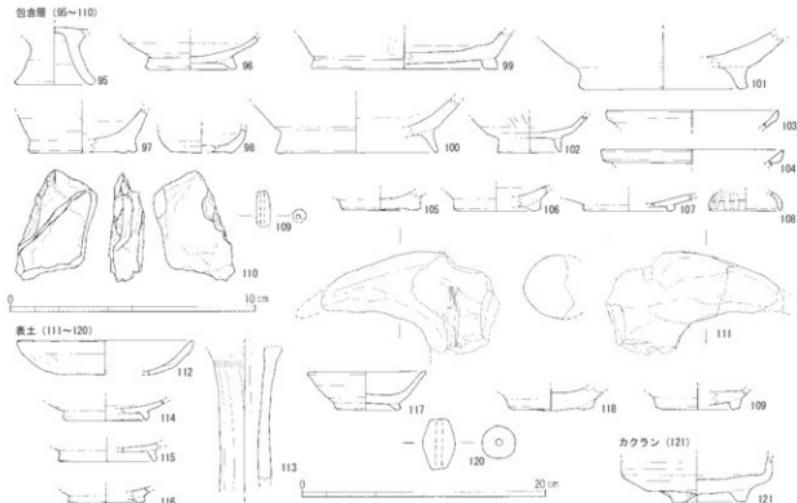
### (1) 区画道路の変遷について

下園東区画の西端部ではこれまで、第47次や第178・2次調査が行われているが、調査範囲が狭く、確実に区画道路に伴う道路側溝の確認には至っていないかった。しかし、今回の調査区において確認できたSD 10852・10854・10859は造構深度の差異によって、部分的に失われてはいるものの、出土遺物の年代から、方格地創造当時の下園東区画の西辺区画道路の東側溝の一部と考えられよう。こうした南北区画道路側溝の脆弱な状況は、柳原区画の西辺道路側溝等でも確認されており<sup>(1)</sup>、柳原から下園東区画へと一連に繋がる西辺道路側溝の機能的な性格を表している可能性がある。また、SD 10859埋没後に重複して掘削されたSK 10956・10857・10858か

ら出土した土器群は、SD 10859の示す年代から大きく乖離するものではなく、年代差はほんのものと考えられることから、SD 10859が埋没して道路側溝としての機能を失うまでは極めて短期間であったことが想定できる。

次に平安時代末葉以降の造成となるSF 10850とその道路側溝群は、側溝間の幅が、交差点付近の最大幅で約14mであるが、最小幅は南端部の約3mと、方格地創造時の道路計画幅約15mよりもかなり狭く変質している。そして、交差点部には人や牛馬の往来を示すものと考えられる<sup>(2)</sup>波板状凹凸面(SZ 10841)がみられ、側溝は排水機能を有する深度を有することから、実用性を重視した道路として機能したことが想定される。

以上から、下園東区画西辺道路、特に東側道路側溝は、造成時からあまり時を経ずして機能を失っていた可能性があり、その後は平安時代末葉以降に実用性の高い道路として再敷設された変遷をたどることが明らかとなった。



第II-13図 第186次調査 出土遺物実測図5 (110のみ1:2、1:4)

## (2) 波板状凹凸面と疊敷遺構について

波板状凹凸面（S Z 10841）は、西辺道路面に約0.4mの間隔で小溝群が道路軸と直交、西側道路側溝となる溝群と湾曲しながら並行する。対して疊敷遺構（S Z 10845）は道路中央部から東側側溝と並行して湾曲し、調査区外へと幅を広げながら続く。過去に史跡内では、第3次調査のSD 4500や第37~4次調査のSF 2427で波板状凹凸面が確認されており、特にSF 2427では、十字状交差点に凹凸面が形成され、その直上に疊敷遺構が確認されている。このような前例から、今回確認したS Z 10841およびS Z 10845は同一道路面に形成された類似した性格の遺構である可能性が浮上してくる。またこの周囲は、南側の調査区と比較して、標高が低く、水はけが著しく悪い。こうした箇所に部分的に疊敷を施すことで、泥濘による牛馬歩行の障害を取り除く工夫が施された可能性が考えられよう。

## 註

- (1) 大川勝宏 2014「柳原区画の遺構」『章宮跡発掘調査報告Ⅱ』柳原区画の調査 遺構・遺構総括編 章宮歴史博物館
- (2) 川部浩司 2012「波板状凹凸面からみた伊勢地域の道路遺構」『Mie history』Vol.21 三重歴史文化研究会



第II-14図 下園東区画の調査成果 (1:1500)

| 番号 | 器種   | 形態  | 地区<br>遺跡 | 法量(cm)        | 調整・技法の特徴                             | 胎土       | 焼成                      | 色調                  | 残存度        | 備考      | 登録<br>番号 |
|----|------|-----|----------|---------------|--------------------------------------|----------|-------------------------|---------------------|------------|---------|----------|
| 1  | 土師器  | 壺   | SD10852  | 10.5<br>口径    | 29.8 外面:ヨコナギ・ハラケヌズ<br>2.5 内面:ヨコナギ・ナダ | 密<br>良   | 橙2.5VR6/8               | 口縁部<br>2/12         | 底部に刻畫「奉」△? | 019-01  |          |
| 2  | 土師器  | 便A  | SD10852  | 10.5<br>口径    | 16.9 外面:ハケ・ヨコナダ                      | 密<br>良   | 橙2.5VR6/7.5             | 口縁部<br>2/12         |            | 003-02  |          |
| 3  | 裏窓器  | 杯   | SD10852  | 10.5<br>上層    | 13.5 外面:ヨコナギ・ハラケヌズ<br>2.5 内面:ヨコナダ    | 密<br>良   | 灰黄2.5VR6/2              | 口縁部<br>3/12         | 蓋△?        | 003-01  |          |
| 4  | 灰陶陶器 | 壺   | SD10852  | 10.5<br>上層    | 8.9 外面:火切・輪付高台窓口・ヨコナダ                | 密<br>良   | 釉:赤陶系812<br>窓:灰陶2.5V7.5 | 底部1/12              | 個人品        | 003-02  |          |
| 5  | 土師器  | 杯A  | SD10852  | 10.5<br>上層    | 10.5 外面:ヨコナギ・ハラケヌズ・工具                | 密<br>良   | 灰2.5VR6/3               | 口縁部<br>5/12         |            | 007-05  |          |
| 6  | 土師器  | 碗A  | SD10852  | 10.5<br>上層    | 10.5 外面:ヨコナギ・ナダ                      | 密<br>良   | 橙2.5VR6/8               | 口縁部<br>2/12         |            | 007-04  |          |
| 7  | 土師器  | 壺A  | SD10852  | 10.5<br>上層    | 10.5 外面:ヨコナギ・ナダ                      | 密<br>良   | 橙2.5VR6/6               | 口縁部<br>1/12         |            | 009-03  |          |
| 8  | 土師器  | 碗A  | SD10852  | 10.5<br>上層    | 16.6 外面:ヨコナギ・ナダ                      | 密<br>良   | 橙2.5VR6/4               | 口縁部<br>3/12         | 碗A大形品      | 011-02  |          |
| 9  | 土師器  | 杯   | SD10852  | 10.5<br>上層    | 9.3 内面:火切                            | 密<br>良   | 橙2.5VR6/8               | 底部1/12              |            | 011-06  |          |
| 10 | 土師器  | 壺A  | SD10852  | 10.5<br>上層    | 10.3 内面:ヨコナギ・ナダ                      | 密<br>良   | 橙2.5VR7/6               | 口縁部<br>2/12         |            | 009-05  |          |
| 11 | 土師器  | 壺A  | SD10852  | 10.5<br>上層    | 10.5 外面:ヨコナギ・ナダ                      | 密<br>良   | 灰2.5VR7.5VR7/4          | 口縁部<br>1/12         |            | 011-01  |          |
| 12 | 土師器  | 壺A  | SD10852  | 10.5<br>上層    | 10.5 外面:ヨコナギ・ナダ                      | 密<br>良   | 灰2.5VR7.5VR7/3          | 口縁部<br>2/12         | マツ         | 010-04  |          |
| 13 | 土師器  | 罐?  | SD10852  | 10.5<br>上層    | 5.5 外面:ハケ・把手斜付・オサ・ナダ                 | 密<br>良   | 灰黄2.5VR6/2              | 把手のみ 誰か瓶?           |            | 009-04  |          |
| 14 | 裏窓器  | 杯B直 | SD10852  | 10.5<br>上層    | 24.4 内面:ヨコナギ・ハラケヌズ                   | 密<br>良   | 橙2.5VR6/2               | 口縁部<br>1/12         |            | 011-03* |          |
| 15 | 裏窓器  | 杯A  | SD10852  | 10.5<br>上層    | 12.7 外面:ヨコナギ・ハラケヌズ                   | 密<br>良   | 橙2.5VR6/4               | 口縁部<br>2/12         | 生焼け        | 011-05  |          |
| 16 | 裏窓器  | 壺   | SD10852  | 10.5<br>上層    | 6.4 内面:ヨコナギ・ナダ                       | 密<br>良   | 橙2.5VR5/1               | 底部完形                |            | 009-02  |          |
| 17 | 裏窓器  | 盤   | SD10852  | 10.5<br>上層    | 32.7 外面:把手斜付・ヨコナギ・ハラケヌズ              | 密<br>良   | 灰2.5VR7/1               | 底部1/12              |            | 010-01  |          |
| 18 | 裏窓器  | 平底  | SD10852  | 10.5<br>上層    | 24.6 外面:ヨコナギ・ハラケヌズ                   | 密<br>良   | 灰2.5VR6/3               | 底部4/12              |            | 010-02* |          |
| 19 | 土師器  | 壺   | SK10556  | 10.5<br>No.1  | 9.8 外面:ヨコナギ・ナダ                       | 密<br>良   | 橙2.5VR7/6               | 口縁部<br>4/12         |            | 007-02  |          |
| 20 | 土師器  | 碗B  | SK10556  | 10.5<br>No.6  | 15.3 外面:山高台・ヨコナギ                     | 密<br>良   | 橙2.5VR6/6               | 口縁部<br>8/12         |            | 005-02  |          |
| 21 | 土師器  | 壺A  | SK10556  | 10.5<br>No.11 | 22.1 外面:ヨコナギ・ハラケヌズ・ナダ                | 密<br>良   | 橙2.5VR7/7               | 見込み面にドーナツ状<br>記号の刻畫 | 020-01     |         |          |
| 22 | 土師器  | 壺A  | SK10556  | 10.5<br>No.5  | 20.5 外面:ヨコナギ・ハラケヌズ・ヨコナギ              | 密<br>良   | 橙2.5VR6/2               | 口縁部<br>2/12         |            | 005-03  |          |
| 23 | 土師器  | 壺A  | SK10556  | 10.5<br>No.11 | 21.0 外面:ヨコナギ・ハラケヌズ・ヨコナギ              | 密<br>良   | 橙2.5VR7/6               | 口縁部<br>5/12         | 小破片以外は磨滅   | 007-01  |          |
| 24 | 土師器  | FG  | SK10556  | 10.5<br>No.2  | 13.0 外面:ヨコナギ・ナダ                      | 密<br>良   | 灰2.5V7.5                | 口縁部<br>3/12         | 粘土接合痕あり    | 004-05  |          |
| 25 | 土師器  | FG  | SK10556  | 10.5<br>No.4  | 2.4 外面:ヨコナギ・ナダ                       | 密<br>良   | 灰2.5VR7/4               | ほぼ完形                |            | 004-06  |          |
| 26 | 土師器  | 高柄  | SK10556  | 10.5<br>No.3  | 13.4 外面:ヨコナギ・ハラケヌズ・ナダ                | 密<br>良   | 橙2.5VR6/6               | 見込み面にドーナツ状<br>記号の刻畫 | 019-02     |         |          |
| 27 | 土師器  | 甕   | SK10556  | 10.5<br>No.8  | 25.7 外面:ヨコナギ・コヨダ                     | 密<br>良   | 橙2.5VR7/6               | 口縁部<br>3/12         | 28と同體か?    | 006-02  |          |
| 28 | 土師器  | 甕   | SK10556  | 10.5<br>No.8  | 31.7 外面:ヨコナギ・ハラケヌズ・オサ・ナダ             | 密<br>良   | 橙2.5VR7/4               | 底部<br>内面磨滅          |            | 006-01  |          |
| 29 | 土師器  | FG  | SK10556  | 10.5<br>No.8  | 13.9 外面:ヨコナギ・オサ・ナダ                   | 密<br>良   | 灰2.5VR6/4               | 見込み面10V8/4<br>10/12 | 27と同體か?    | 004-03  |          |
| 30 | 土師器  | FG  | SK10556  | 10.5<br>No.3  | 12.6 外面:ヨコナギ・ナダ                      | 密<br>良   | 灰2.5VR7/3               | 口縁部                 |            | 004-04  |          |
| 31 | 土師器  | 碗B  | SK10556  | 10.5<br>No.5  | 16.5 外面:山高台・ヨコナギ                     | 密<br>良   | 橙2.5VR7/6               | 口縁部<br>7/12         |            | 004-01  |          |
| 32 | 土師器  | 杯A  | SK10556  | 10.5<br>No.4  | 17.7 外面:ヨコナギ・ハラケヌズ・ヨコナギ              | 密<br>良   | 橙2.5VR7/6               | 口縁部<br>6/12         |            | 004-02  |          |
| 33 | 土師器  | 壺A  | SK10556  | 10.5<br>No.3  | 21.3 外面:ヨコナギ・ナダ                      | 密<br>良   | 灰2.5VR6/4               | 口縁部<br>2/12         | 見込み面に不明記書  | 021-01  |          |
| 34 | 土師器  | 碗B  | SK10556  | 10.5<br>No.6  | 38.4 外面:ヨコナギ・把手斜付・ナ・オサエ・ヨコナギ         | 密<br>良   | 灰黄褐10VR6/3              | 口縁部<br>3/12         |            | 006-01  |          |
| 35 | 土師器  | 甕   | SK10556  | 10.5<br>No.4  | 21.0 外面:ヨコナギ・ハラケヌズ・ヨコナギ              | 密<br>良   | 灰2.5VR6/3               | 口縁部<br>2/12         |            | 005-01  |          |
| 36 | 土師器  | 碗A  | SK10556  | 10.5<br>No.1  | 19.0 外面:ヨコナギ・ハラケヌズ・ヨコナギ・ナダ           | 密<br>良   | 灰2.5VR7/4               | ほぼ完形 内外面に擦付着        |            | 009-01  |          |
| 37 | 裏窓器  | 杯A  | SD10852  | 10.5<br>上層    | 12.2 ナ・内面:ヨコナギ・ハラケヌズ・ヨコナギ            | 密<br>良   | 灰2.5VR7/2               | 口縁部<br>3/12         |            | 007-03  |          |
| 38 | 陶器   | 山葉模 | SK10542  | 10.5<br>上層    | 8.7 外面:火切・高台貼付・ヨコナギ                  | やや不<br>良 | 灰2.5VR7/2               | 底部3/12              |            | 001-07  |          |
| 39 | 土師器  | 杯A  | SK10842  | 10.5<br>上層    | 14.7 外面:ヨコナギ・ナダ                      | 良        | 橙2.5VR6/8               | 口縁部<br>3/12         |            | 001-01  |          |
| 40 | 土師器  | 杯A  | SK10842  | 10.5<br>上層    | 13.7 外面:ヨコナギ・ナダ                      | 良        | 橙2.5VR6/6               | 口縁部<br>6/12         |            | 001-04  |          |
| 41 | 土師器  | 杯A  | SK10842  | 10.5<br>上層    | 15.7 外面:ヨコナギ・ナダ                      | 良        | 橙2.5VR6/6               | 口縁部<br>1/12         |            | 001-02  |          |
| 42 | 土師器  | 碗A  | SK10842  | 10.5<br>上層    | 3.0 内面:ヨコナギ・ナダ                       | 良        | 橙2.5VR7/8               | 口縁部<br>4/12         |            | 001-05  |          |
| 43 | 土師器  | 壺A  | SK10842  | 10.5<br>上層    | 14.6 外面:ヨコナギ・ナダ                      | 良        | 灰2.5VR6/4               | 口縁部<br>1/12         |            | 001-06  |          |
| 44 | 土師器  | 壺C  | SK10842  | 10.5<br>上層    | 23.7 外面:ヨコナギ・ナダ                      | 良        | 灰2.5VR7/4               | 口縁部<br>2/12         |            | 001-03  |          |

第II-3表 第186次調査 遺物觀察表(1)

| 番号 | 器種      | 器形   | 地色<br>遺傳            | 法量(cm)                               | 調整・技法の特徴                           | 胎土      | 焼成                       | 色調                   | 残存度      | 備考     | 登録番号 |
|----|---------|------|---------------------|--------------------------------------|------------------------------------|---------|--------------------------|----------------------|----------|--------|------|
| 45 | 土師器     | 杯A   | SK10843<br>No.2     | 口徑<br>2.9<br>高さ<br>14.8              | 外面:ヨコナギ<br>内面:ヨコナギ・ナヂ              | 密<br>良  | 焼成708/8                  | 口緑部<br>2/12          | 外面磨滅     | 902-03 |      |
| 46 | 灰陶陶器    | 碗    | SK10843上<br>層       | 口徑<br>15.6<br>高さ<br>4.8<br>底径<br>7.6 | 外面:高台貼付・ヨコナギテリ・ヨコナギ<br>内面:ヨコナギ     | 密<br>良  | 焼成900<br>素地:灰白2.5Y7/1    | 口緑部<br>5/12          |          | 902-05 |      |
| 47 | 灰陶陶器    | 瓶    | SK10843上<br>層       | 口徑<br>14.5<br>高さ<br>2.7<br>底径<br>8.0 | 外面:高台貼付・ヨコナギテリ・ヨコナギ<br>内面:ヨコナギ     | 密<br>良  | 焼成964<br>素地:灰白2.5Y7/1    | 口緑部<br>9/12          |          | 902-02 |      |
| 48 | 灰陶器     | 甕    | SK10843<br>No.1     | 口徑<br>14.0<br>高さ<br>6.6              | 外面:平底タガ・ヨコナギ<br>内面:工型施・ナヂ・ヨコナギ     | 密<br>良  | 焼成815<br>素地:灰白6/1        | 口緑部<br>7/12          |          | 902-04 |      |
| 49 | 土製品     | 土瓶   | SK10843<br>上層       | 長径<br>5.2<br>幅<br>2.5<br>厚径<br>0.55  | 全面:ナヂ                              | 密<br>良  | 口5=黄橙10YR8/3             | 口IX完形<br>重514.6kg    |          | 921-02 |      |
| 50 | 灰陶器     | 杯B   | SK10844             | 口徑<br>3.0<br>高さ<br>10.1              | 外面:手切削・高台貼付・ヨコナギ<br>内面:ヨコナギ        | 密<br>良  | 灰白5Y7/1                  | 底部1/12               |          | 902-08 |      |
| 51 | 灰陶器     | 杯B   | SK10844             | 口徑<br>2.7<br>高さ<br>9.0<br>底径<br>1.9  | 外面:手切削・高台貼付・ヨコナギ<br>内面:ヨコナギ        | 密<br>良  | 灰7.5Y6/1                 | 底部2/12               |          | 902-08 |      |
| 52 | 灰陶陶器    | 瓶    | SK10844             | 口徑<br>7.9<br>高さ<br>15.6<br>底径<br>1.5 | 外面:手切削・高台貼付・ヨコナギ<br>内面:ヨコナギ        | 密<br>良  | 焼成822<br>素地:灰白5Y7/1      | 底部2/12<br>重ね焼き痕あり    |          | 902-06 |      |
| 53 | 土師器     | 碗A   | SK10845             | 口徑<br>3.9<br>高さ<br>16.9              | 外面:ナヂ・エナジ・ヨコナギ<br>内面:ヨコナギ          | 密<br>良  | 焼成708/6                  | 口緑部<br>1/12          |          | 902-01 |      |
| 54 | 土師器     | 皿A   | SB10853<br>No.6     | 口徑<br>21.6<br>高さ<br>3.6              | 外面:タガテリ・ヨコナギ<br>内面:ヨコナギ            | 良       | 焼成708/6                  | 口緑部<br>1/12未満        | 口唇部に斜め凹み | 912-05 |      |
| 55 | 灰陶器     | 甕    | SB10853<br>No.7     | 口徑<br>16.8<br>高さ<br>2.9              | 外面:手切削・ヨコナギテリ・標記旋文<br>内面:ヨコナギ      | 密<br>不良 | 浅黄褐色10YR8/4              | 口緑部<br>2/12          | 生焼け      | 911-07 |      |
| 56 | 灰陶陶器    | 碗    | SD10830             | 口徑<br>6.6<br>高さ<br>2.7               | 外面:手切削・高台貼付・ヨコナギ<br>内面:ヨコナギ        | 密<br>良  | 焼成808<br>素地:灰白2.5Y7/1    | 底部5/12               |          | 914-02 |      |
| 57 | 灰陶陶器    | 碗    | SD10830<br>上層       | 口徑<br>8.2<br>高さ<br>2.4               | 外面:手切削・高台貼付・ヨコナギ<br>内面:ヨコナギ        | 密<br>良  | 焼成838<br>素地:灰白2.5Y7/1    | 底部2/12<br>重ね焼き痕あり    |          | 921-03 |      |
| 58 | 瓦       | 平瓦   | SD10830<br>上層       | 長径<br>6.5<br>幅<br>1.9<br>厚径<br>1.1   | 凸面:ヨコナギ<br>裏面:布目・ヨコナギ              | 密<br>良  | 焼成7.5Y7/6                | 完形<br>重541.2kg       |          | 914-01 |      |
| 59 | 土製品     | 土瓶   | SD10830             | 長径<br>8.1<br>幅<br>7.4<br>厚径<br>1.8   | 全面:ナヂ                              | 密<br>良  | 口5=黄橙10YR8/3             |                      |          | 925-01 |      |
| 60 | 石製品     | 墨石   | SD10830<br>上層       | 長径<br>7.0<br>幅<br>1.9                | 全面:ナヂ                              | 密<br>良  | 口5=黄橙10YR8/3             | 完形<br>重59.67kg       |          | 921-04 |      |
| 61 | 土製品     | 土瓶   | SD10836<br>上層       | 長径<br>7.0<br>幅<br>1.9                | 全面:ナヂ                              | 密<br>良  | 口5=黄橙10YR8/3             | 完形<br>重59.67kg       |          | 921-04 |      |
| 62 | 灰陶器     | 蓋    | SD10846<br>上層       | 口徑<br>17.2<br>高さ<br>1.4              | 外面:ヨコナギ<br>内面:ヨコナギ                 | 密<br>良  | 焼成2.5/5/2                | 口緑部<br>1/12未満<br>盤か? |          | 914-03 |      |
| 63 | 灰陶器     | 杯B   | SD10846<br>上層       | 口徑<br>10.1<br>高さ<br>3.5              | 外面:手切削・高台貼付・ヨコナギテリ・ヨコナギ<br>内面:ヨコナギ | 密<br>良  | 焼成7.5Y6/1                | 口緑部<br>1/12未満        |          | 914-04 |      |
| 64 | 灰陶陶器    | 瓶    | SD10846<br>上層       | 口徑<br>31.6<br>高さ<br>7.0              | 外面:手切削・ヨコナギ<br>内面:ヨコナギ             | 密<br>良  | 焼成2.5Y6/1                | 口緑部<br>1/12          |          | 915-01 |      |
| 65 | ヨコナギ土師器 | 台付小皿 | SD10847<br>上層       | 口徑<br>4.9<br>高さ<br>1.6               | 外面:手切削・高台貼付・ヨコナギ<br>内面:ヨコナギ        | 密<br>良  | 浅黄褐色10YR8/3              | 底部8/12               |          | 914-05 |      |
| 66 | 陶器      | 山巣   | SD10849             | 口徑<br>5.0<br>高さ<br>1.3               | 外面:手切削・高台貼付・ヨコナギテリ<br>内面:ヨコナギ      | 密<br>良  | 焼成2.5Y7/2                | 底部4/12               |          | 915-06 |      |
| 67 | 陶器      | 山茶葉  | SD10849             | 口徑<br>7.2<br>高さ<br>2.0               | 外面:手切削・高台貼付・ヨコナギ<br>内面:ヨコナギ        | 密<br>良  | 焼成2.5Y8/3                | 底部6/12               |          | 916-01 |      |
| 68 | 陶器      | 山茶葉  | SD10849<br>下層No.1   | 口徑<br>7.2<br>高さ<br>2.5               | 外面:手切削・高台貼付・ヨコナギテリ・ヨコナギ<br>内面:ヨコナギ | 密<br>良  | 焼成7/1                    | 底部モザイク板<br>完形        |          | 915-05 |      |
| 69 | 青磁      | 瓶    | SD10851<br>上層       | 口徑<br>2.4<br>高さ<br>2.5               | 外面:手切削・高台貼付・ヨコナギ<br>内面:ヨコナギ        | 密<br>良  | 焼成6987<br>素地:青磁          | 底部1/12<br>重ね焼き痕あり    |          | 922-02 |      |
| 70 | 灰陶陶器    | 小瓶   | SD10841             | 口徑<br>1.2<br>高さ<br>4.9               | 外面:手切削・ナヂ・ヨコナギテリ<br>内面:ヨコナギ        | 密<br>良  | 焼成2.5Y7/1                | 底部4/12               |          | 915-02 |      |
| 71 | 灰陶陶器    | 瓶    | SD10841             | 口徑<br>7.2<br>高さ<br>1.6               | 外面:手切削・ナヂ・ヨコナギテリ<br>内面:ヨコナギ        | 密<br>良  | 焼成838<br>素地:灰白2.5Y7/1    | 底部4/12               |          | 915-03 |      |
| 72 | 土師器     | 杯    | SD10845             | 口徑<br>13.7<br>高さ<br>2.5              | 外面:ナヂ・エナジ・ヨコナギ<br>内面:ヨコナギ          | 密<br>良  | 口5=7.5Y8/4               | 口緑部<br>2/12          |          | 913-07 |      |
| 73 | 灰陶器     | 貝頂盞  | SD10845<br>No.11    | 口徑<br>6.9<br>高さ<br>2.5               | 外面:ヨコナギ<br>内面:ヨコナギ                 | 密<br>良  | 口5=7.5Y8/4               | 口緑部<br>1/12          |          | 913-06 |      |
| 74 | 灰陶器     | 円面鏡  | SD10845             | 口徑<br>3.2                            | 外面:ヨコナギ・無柄鏡                        | 密<br>良  | 焼成2.5Y6/2                | 糊部1/12<br>木漆         |          | 922-04 |      |
| 75 | 灰陶器     | 甕    | SD10845<br>No.69-70 | 口徑<br>17.2<br>高さ<br>2.1              | 外面:タガ・ヨコナギ・ナヂ                      | 密<br>良  | 灰白5Y7/1                  | 底部2/12               |          | 913-01 |      |
| 76 | 灰陶陶器    | 瓶    | SD10845             | 口徑<br>7.1<br>高さ<br>1.7               | 外面:手切削・高台貼付・ヨコナギ<br>内面:ヨコナギ        | 密<br>良  | 焼成2.5Y7/2                | 底部3/12               |          | 913-08 |      |
| 77 | 灰陶陶器    | 瓶    | SD10845             | 口徑<br>1.5<br>高さ<br>1.5               | 外面:手切削・高台貼付・ヨコナギ<br>内面:ヨコナギ        | 密<br>良  | 焼成2.5Y7/2                | 底部3/12               |          | 913-03 |      |
| 78 | 灰陶陶器    | 瓶    | SD10845<br>No.12    | 口徑<br>7.1<br>高さ<br>1.9               | 外面:手切削・高台貼付・ヨコナギ<br>内面:ヨコナギ        | 密<br>良  | 焼成2.5Y7/1                | 底部2/12               |          | 913-04 |      |
| 79 | 灰陶陶器    | 瓶    | SD10845<br>No.7     | 口徑<br>7.5<br>高さ<br>2.2               | 外面:手切削・高台貼付・ヨコナギ<br>内面:ヨコナギ        | 密<br>良  | 焼成2.5Y7/2                | 底部4/12               |          | 912-08 |      |
| 80 | 灰陶陶器    | 瓶    | SD10845<br>No.77    | 口徑<br>6.9<br>高さ<br>2.5               | 外面:手切削・高台貼付・ヨコナギ<br>内面:ヨコナギ        | 密<br>良  | 焼成2.5Y7/1                | 底部2/12               |          | 912-09 |      |
| 81 | 灰陶陶器    | 瓶    | SD10845<br>No.19    | 口徑<br>6.9<br>高さ<br>1.7               | 外面:手切削・高台貼付・ヨコナギ<br>内面:ヨコナギ        | 密<br>良  | 焼成2.5Y7/2                | 口緑部<br>3/12          | 重ね焼き痕あり  | 913-05 |      |
| 82 | 灰陶陶器    | 瓶    | SD10845<br>No.9     | 口徑<br>10.5<br>高さ<br>2.3              | 外面:手切削・ナヂ・ヨコナギ<br>内面:ヨコナギ          | 密<br>良  | 焼成814<br>素地:灰白2.5Y8/6(1) | 底部2/12               |          | 912-02 |      |
| 83 | 陶器      | 山茶葉  | SD10845<br>No.2     | 口徑<br>7.4<br>高さ<br>2.7               | 外面:手切削・高台貼付・ヨコナギ<br>内面:ヨコナギ        | 密<br>良  | 焼成2.5Y7/1                | 口緑部<br>4/12          | 重ね焼き痕あり  | 912-07 |      |
| 84 | 陶器      | 山茶葉  | SD10845<br>No.5     | 口徑<br>6.9<br>高さ<br>1.6               | 外面:手切削・高台貼付・ヨコナギ<br>内面:ヨコナギ        | 密<br>良  | 焼成2.5Y7/2                | 底部1/12<br>木漆         |          | 922-05 |      |
| 85 | 土師器     | 甕A   | SK10855             | 口徑<br>16.9<br>高さ<br>12.5             | 外面:ハサウエ・タガ・ヨコナギ<br>内面:ヨコナギ         | 密<br>良  | 浅黄褐色10YR8/3              | 口緑部<br>2/12          |          | 903-04 |      |

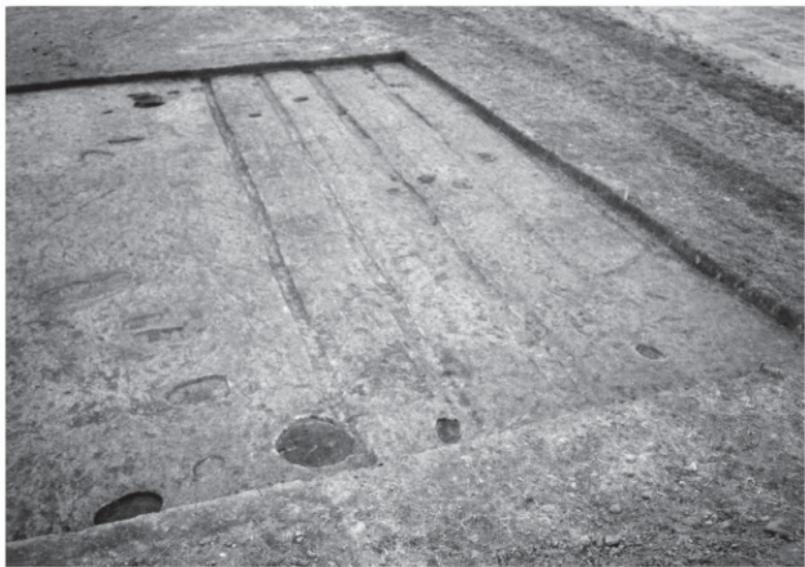
第II-4表 第186次調査 遺物観察表(2)

| 番号  | 器種         | 器形   | 地C<br>遺物        | 法長(cm)            | 調整・技法の特徴                              | 胎土 | 焼成                      | 色調                        | 残存度              | 備考              | 登錄<br>番号 |
|-----|------------|------|-----------------|-------------------|---------------------------------------|----|-------------------------|---------------------------|------------------|-----------------|----------|
| 86  | 灰唐器        | 鉢    | SK10855<br>上層   | 陶面<br>5.7         | 外面:ロクロケズ・ロクロナデ<br>内面:ロクロナデ            | 密  | 良                       | 灰黄6/1                     | —                |                 | 003-07   |
| 87  | 灰糊陶器       | 碗    | SK10855<br>No.3 | 底径<br>2.5         | 外面:系切削・高台貼付・ロクロナデ                     | 密  | 良                       | 灰黄2.5V7/2                 | 底部1/12           |                 | 003-07   |
| 88  | ロクロ<br>土師器 | 小皿   | SK10855<br>No.3 | 底径<br>2.4         | 外面:系切削・ロクロナデ                          | 密  | 良                       | 淡黄褐10V8E/3                | 底部5/12           |                 | 003-05   |
| 89  | 瓦器         | 碗    | p1p1            | 1.0径<br>壁高<br>2.0 | 13.外面:系切削・高台貼付・ロクロナデ<br>2.外面:ロクロナデ・土継 | 密  | 良                       | 外面:HC4U<br>内面:灰白2.5V8E/1  | 口縁部<br>1/12      |                 | 012-06   |
| 90  | 土師器        | 碗    | m1p8            | 壁高<br>3.2         | 外面:ロクロナデ                              | 密  | 良                       | 棕5V6E/6                   | 口縁部<br>2/12      |                 | 012-01   |
| 91  | ロクロ<br>土師器 | 台付杯  | m1p7            | 底径<br>1.2         | 外面:系切削・高台貼付・ロクロナデ                     | 密  | 良                       | 淡黄褐10V8E/4                | 底部6/12           | 見込み面に墨痕         | 022-01   |
| 92  | 陶器         | 山差瓶  | m25p1           | 底径<br>2.3         | 外面:系切削・高台貼付・ロクロナデ<br>内面:ロクロナデ         | 密  | 良                       | 灰白2.5V8E/1                | 底部3/12           |                 | 012-02   |
| 93  | 土師器        | 小皿   | Hp3             | 外径<br>1.1         | 外面:系切削・ロクロナデ                          | 密  | やや<br>不良                | 灰白2.5V8E/2                | 口縁部<br>5/12      |                 | 012-04   |
| 94  | 土師器        | 小皿   | Hp3             | 外径<br>1.6         | 外面:系切削・ロクロナデ                          | 密  | 良                       | 灰白10V8E/3                 | 口縁部<br>8/12      |                 | 012-03   |
| 95  | 土師器        | 台    | 包合蓋             | 底径<br>4.7         | 外面:系切削・ロクロナデ                          | 密  | 良                       | 灰黄10V8E/2                 | 底部9/12           |                 | 017-06   |
| 96  | 灰糊陶器       | 碗    | 包合蓋             | 底径<br>6.9         | 外面:系切削・高台貼付・ロクロナデ<br>内面:ロクロナデ         | 密  | 良                       | 釉:無色835<br>底面:灰2.5V8E/2   | 底部6/12           |                 | 017-01   |
| 97  | 灰糊陶器       | 瓶    | 包合蓋             | 底径<br>8.3         | 外面:系切削・ロクロナデ<br>内面:ロクロナデ              | 密  | 良                       | 灰白2.5V7/1                 | 底部6/12           |                 | 017-02   |
| 98  | 灰糊陶器       | 小型瓶  | 包合蓋             | 底径<br>9.0         | 外面:系切削・ロクロケズ・ロクロナデ<br>内面:ロクロナデ        | 釉  | オーバーカラ816<br>底面:灰白5V7/1 | 底部1/12                    | 小型模造品            | 023-07          |          |
| 99  | 灰糊陶器       | 瓶    | 包合蓋             | 底径<br>15.1        | 外面:高台貼付・ロクロケズ・ロクロナデ<br>内面:ロクロナデ       | 密  | 良                       | 釉:利根白系812                 | 底部3/12           |                 | 017-03   |
| 100 | 灰糊陶器       | 鉢    | 包合蓋             | 底径<br>13.0        | 外面:高台貼付・ロクロケズ<br>内面:ロクロナデ             | 密  | 良                       | 釉:山田色822<br>底面:灰白2.5V8E/1 | 底部2/12           |                 | 017-04   |
| 101 | 灰糊陶器       | 鉢    | 包合蓋             | 底径<br>12.8        | 外面:高台貼付・ロクロナデ<br>内面:ロクロナデ             | 密  | 良                       | 釉:灰5V6E/4                 | 底部2/12           |                 | 017-05   |
| 102 | 青磁         | 碗    | 包合蓋             | 底径<br>3.0         | 外面:グリザリし面高・ロクロケズ・ロクロ<br>内面:ロクロナデ      | 密  | 良                       | 釉:利根白系812<br>底面:灰白2.5V7/1 | 底部6/12           |                 | 024-01   |
| 103 | 白磁         | 碗    | 包合蓋             | 底径<br>13.8        | 外面:ロクロナデ                              | 密  | 良                       | 釉:木曾909<br>底面:灰2.5V8E/2   | 口縁部<br>1/12未満    |                 | 023-06   |
| 104 | 白磁         | 碗    | 包合蓋             | 底径<br>13.3        | 外面:ロクロナデ                              | 密  | 良                       | 釉:利根白系812<br>底面:灰2.5V8E/2 | 口縁部<br>1/12未満    |                 | 023-05   |
| 105 | 白磁         | 碗    | 包合蓋             | 底径<br>9.5         | 外面:グリザリし面高・ロクロケズ・ロクロ<br>内面:ロクロナデ      | 密  | 良                       | 釉:灰5V6E/2<br>底面:灰白2.5V7/1 | ほぼ完形             |                 | 024-04   |
| 106 | 白磁         | 碗    | 包合蓋             | 底径<br>2.0         | 外面:ロクロナデ                              | 密  | 良                       | 釉:青磁999<br>底面:灰白5V7/1     | 底部<br>2/12       |                 | 024-03   |
| 107 | 白磁         | 瓶    | 包合蓋             | 底径<br>9.6         | 外面:高台貼付・ロクロケズ<br>内面:ロクロナデ             | 密  | 良                       | 釉:象牙色789<br>底面:灰白5V7/2    | 底部<br>2/12       |                 | 024-02   |
| 108 | 青白磁        | 合子蓋  | 包合蓋             | 底径<br>1.5         | 外面:ロクロナデ<br>内面:ロクロナデ                  | 密  | 良                       | 釉:青白556<br>底面:灰白8/1       | 口縁部<br>2/12      |                 | 023-03   |
| 109 | 土製品        | 土瓶   | 包合蓋             | 底径<br>0.35        | 1.全面:ナデ<br>2.全面:ナデ                    | 密  | 良                       | 底面:2.5V7/3                | 1/2程度<br>重さ3.06g |                 | 023-04   |
| 110 | 石器         | 末製品  | 包合蓋             | 底径<br>2.8         | —                                     | —  | —                       | —                         | 黑色系チャート          |                 | 025-02   |
| 111 | 土製品        | 土壺   | 表土              | 底径<br>8.4         | 14.全面:ナデ・オサウエ                         | 密  | 良                       | 標5V7/8                    | 尻尾部<br>のみ        |                 | 026-01   |
| 112 | 土師器        | 杯    | 表土              | 底径<br>1.2         | 内面:系切削・ロクロナデ                          | 密  | 良                       | 灰5V6E/4                   | 口縁部<br>1/12      |                 | 016-05   |
| 113 | 土師器        | 高杯   | 表土              | 底径<br>7.0         | 外面:ハタ・面取510mm                         | 密  | 良                       | 標5V6E/6                   | 脚部<br>2/12       | 標識との接合面に刻み<br>目 | 016-06   |
| 114 | 灰糊陶器       | 碗    | 表土              | 底径<br>1.7         | 外面:系切削・高台貼付・ロクロナデ<br>内面:ロクロナデ         | 密  | 良                       | 釉:灰2.5V7/3                | 底部<br>3/12       | 重ね焼き跡あり         | 016-03   |
| 115 | 緑糊陶器       | 碗    | 表土              | 底径<br>7.8         | 外面:系切削・高台貼付・ロクロナデ<br>内面:ロクロナデ         | 密  | 良                       | 釉:抹茶色838<br>底面:灰2.5V7/1   | 底部<br>1/12       | 猪股系             | 022-07   |
| 116 | 灰糊陶器       | 碗    | 表土              | 底径<br>6.0         | 外面:系切削・高台貼付・ロクロナデ<br>内面:ロクロナデ         | 密  | 良                       | 釉:灰833<br>底面:灰2.5V7/3     | 底部<br>3/12       | 近江系             | 023-01   |
| 117 | 陶器         | 山瓶   | 表土              | 底径<br>9.4         | 外面:系切削・高台貼付・ロクロケズ・ロ<br>内面:ロクロナデ       | 密  | 良                       | 灰2.5V7/2<br>底面:灰白5V7/2    | 口縁部<br>7/12      | 内面に捺行者          | 016-02   |
| 118 | 白磁         | 碗    | 表土              | 底径<br>5.7         | 外面:グリザリし面高・ロクロナデ                      | 密  | 良                       | 釉:象牙色789<br>底面:灰黄褐10V8E/4 | 底部<br>1/12       |                 | 022-07   |
| 119 | 白磁         | 碗    | 表土              | 底径<br>5.7         | 外面:グリザリし面高・ロクロナデ                      | 密  | 良                       | 灰5V6E/3                   | 底部<br>3/12       | 重ね焼き跡あり         | 016-04   |
| 120 | 土製品        | 土瓶   | 表土              | 底径<br>4.1         | 全面:ナデ                                 | 密  | 良                       | 灰5V6E/3                   | 完形<br>重さ26.45g   |                 | 023-02   |
| 121 | 陶器         | 二足香炉 | カクツ             | 底径<br>12.3        | 外面:系切削・ロクロケズ・是高台貼<br>内面:ロクロナデ         | 密  | 良                       | 釉:蘭色736<br>底面:2.5V8/3     | 底部<br>3/12       | トランクあり          | 018-01   |

第二II-5表 第186次調査 遺物観察表(3)



南調査区東側全景（北から）



南調査区西側全景（北から）

写真図版 2



北調査区全景（北から）



SK 10856・10857・10858 出土状況（南から）



S K 10856 下層出土状況（南から）



S F 10850 南側（北から）

写真図版 4



S F 10850 北西側溝群 (S D 10831 ほか・北から)



S D 10830 (東から)

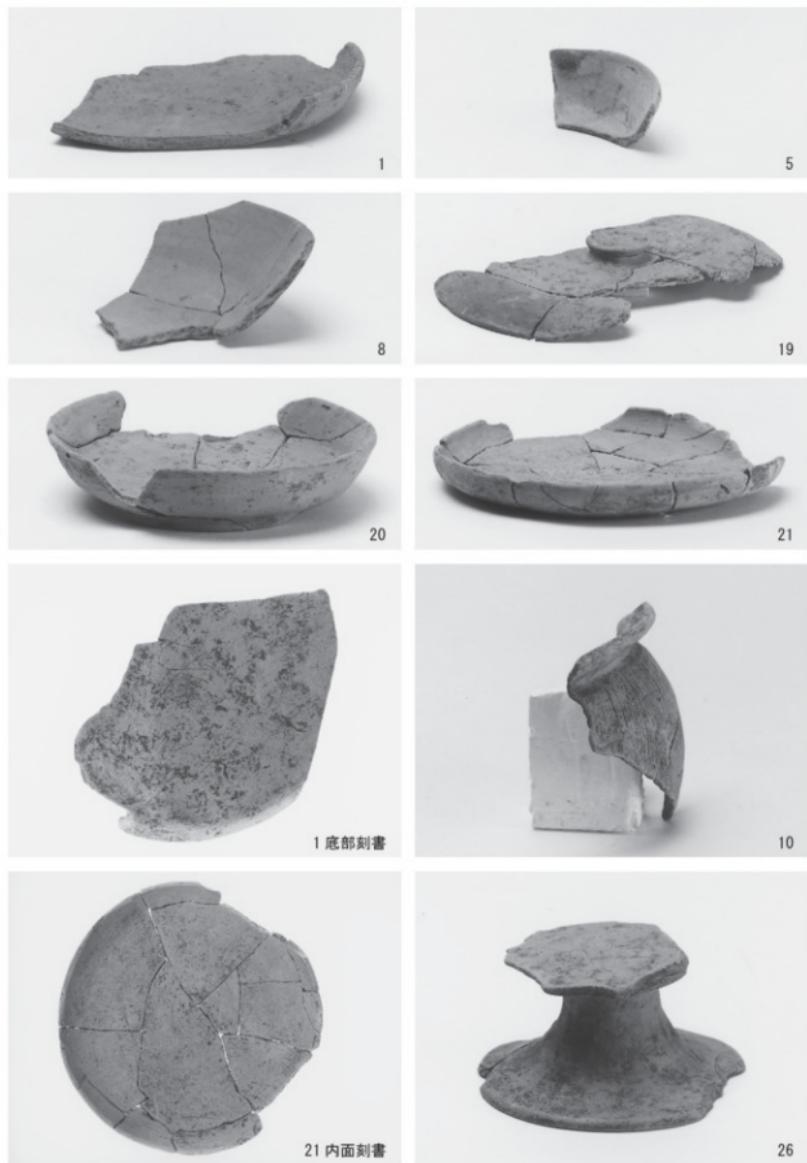


S Z 10841 (南から)



S Z 10845 (南西から)

写真図版 6 出土遺物（1）



写真図版 7 出土遺物 (2)



23



25



30



31



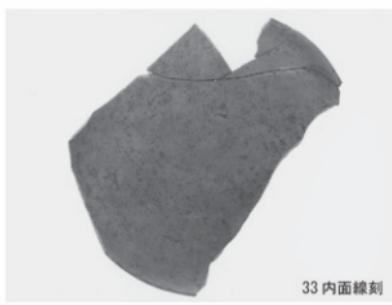
32



33



34



33 内面線刻

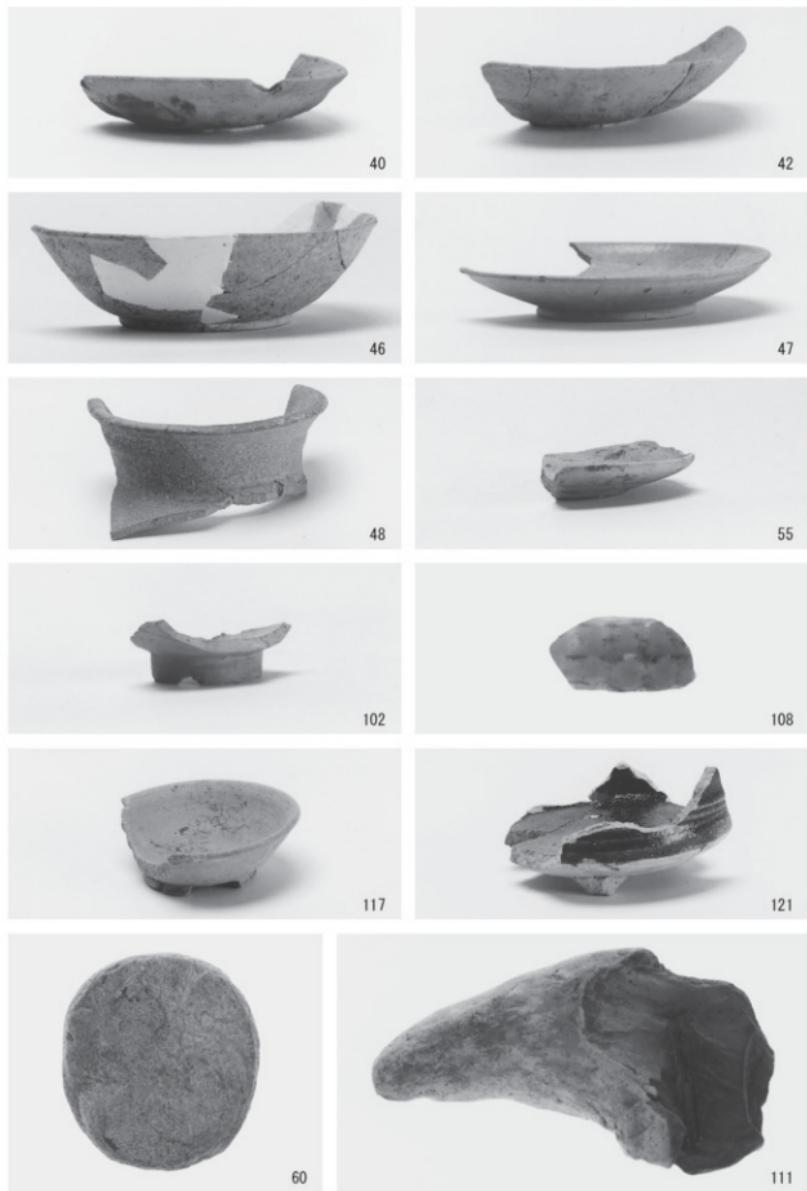


35



36

写真図版 8 出土遺物（3）



## 報 告 書 抄 錄

---

史跡斎宮跡  
平成 27 年度  
発掘調査概報  
2017 年 3 月 24 日

編集・発行 斎宮歴史博物館  
印 刷 株式会社アイブレーン

---



